

射水市を取り巻く情勢

目 次

1	地理的特性.....	1
（1）	位置・面積.....	1
（2）	地勢.....	1
（3）	気象.....	1
（4）	土地利用.....	2
2	社会的特性.....	3
（1）	歴史・沿革.....	3
（2）	人口・世帯.....	4
（3）	産業.....	6
（4）	都市基盤.....	11
（5）	教育.....	14
（6）	文化財.....	15
（7）	福祉.....	15
（8）	医療機関.....	16
（9）	財政.....	17
3	参考資料　－施策評価における統計データ資料－	20

1 地理的特性

(1) 位置・面積

本市は、富山県のほぼ中央に位置しており、環日本海交流の拠点としての優位性を有しています。北は、日本海最大の湾である富山湾に面し、東は富山市、西は高岡市と県下2大都市の間に位置し、南は砺波市に隣接しています。

本市域は、東西10.9キロメートル、南北16.6キロメートル、総面積109.44平方キロメートルで、県土面積の約2.6%を占めています。



(2) 地勢

本市は、広大な射水平野に、南部には射水丘陵があり、標高は海拔0メートルから140.2メートルとなっています。市内には、庄川、和田川、下条川、内川等の河川があり、富山湾へ注いでいます。

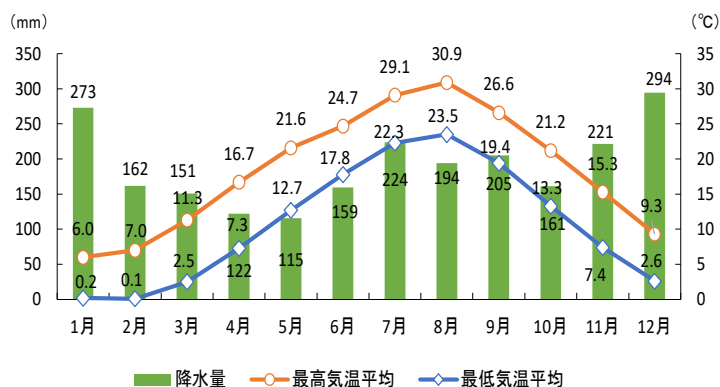
市域は、庄川、神通川の土砂のたい積によって形成された三角州状の低平な地形からなる平野部と丘陵地で構成されており、四季折々において彩り豊かな自然がみられます。

(3) 気象

月別の気温をみると、8月は最高気温の平均が30℃を超え、冬は氷点下になることは少ない気候です。

降水量は1月、7月、9月、12月が多く、そのうち1月と12月の多くは降雪によるものです。

〔月別 降水量、最高気温平均、最低気温平均(平年値)※〕



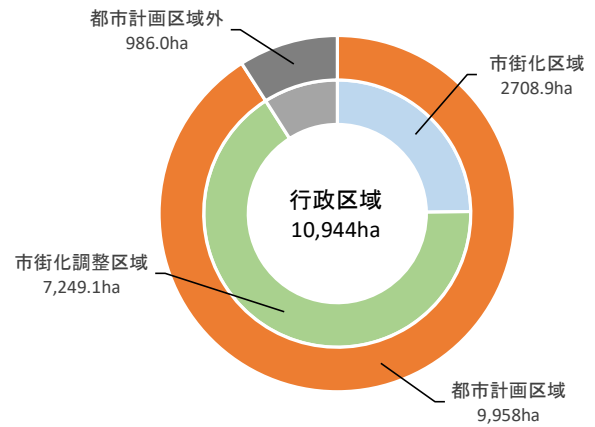
※平年値：西暦年の1の位が1の年から続く30年間の平均値で10年ごとに更新される。現在は1991年から2020年の観測地による。

資料：気象庁（伏木特別地域気象観測所）

(4) 土地利用

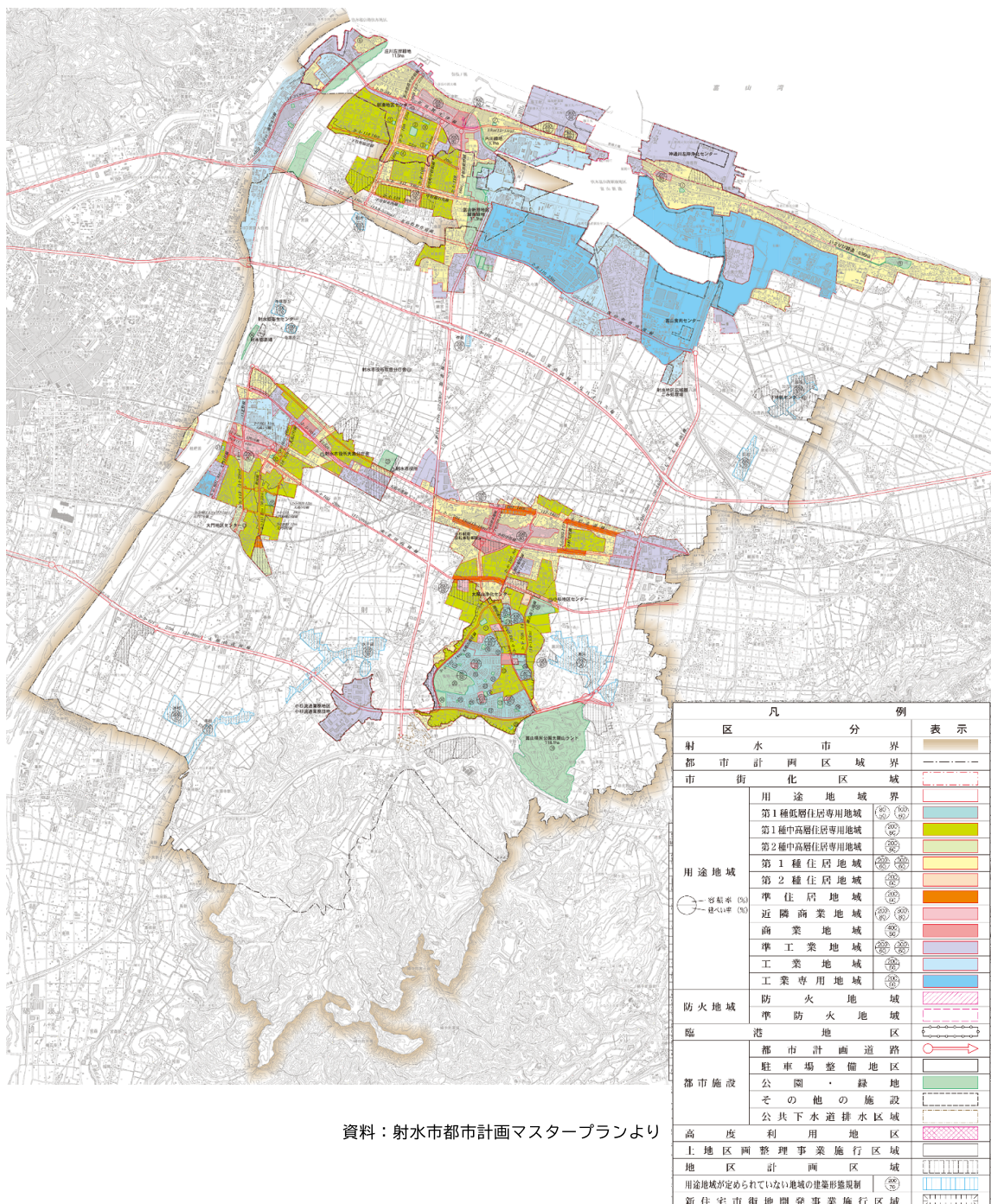
行政区域(10,944ha)のうち、南部丘陵地の一部を除く約9割が都市計画区域であり、市街化区域が3割弱、市街化調整区域が7割強となっています。

鉄道駅周辺や沿岸部、既成市街地周辺の幹線道路沿道等を中心に宅地が増加してきており、市街地が増大する傾向がみられます。



資料：庁内資料 (R2. 9. 11 事務連絡)

[都市計画の指定状況]



資料：射水市都市計画マスタープランより

2 社会的特性

(1) 歴史・沿革

「いみず」の地名は、もとは「伊美都」「伊弥頭」と表されました。奈良時代の713年、朝廷が郡・郷の地名を漢字二文字で記すよう命じたことで、「射水」の表記に定まったとされています。

本市の南部に位置する射水丘陵では、旧石器時代の遺物が見つっています。串田新遺跡をはじめとする縄文時代の集落遺跡は丘陵地縁辺の平野でも多数発掘されており、数千年前から人々が暮らしていました。

縄文時代の射水平野は、中央部まで海水が浸入して入り江が形成されたと考えられています。この入り江に流れ込む河川が運ぶ土砂が堆積し、放生津潟が形作られ、周辺が低湿地となりました。この水郷地帯は、弥生時代以降に開拓が進み、奈良時代には、東大寺などの荘園が開かれていきました。また、この頃の射水丘陵では、小杉丸山遺跡などの生産遺跡が多く見つかり、県内最大規模の陶器・鉄の生産地となっていました。

平安時代には下鴨神社から分祀した下地区の加茂神社には水と雷の神が祀られ、京都から伝わったとされる稚児舞や流鏑馬が今日まで受け継がれています。

鎌倉時代には、富山湾沿岸の放生津が発展し、内川に沿った港町の景観が形成されていったと考えられます。放生津には、武士を管理する守護所が置かれ、鎌倉・室町時代を通して越中の政治・経済・文化の中心となりました。室町時代の1493年には、将軍足利義材が京都の政変を避けて放生津へ入り、越中幕府と呼ばれる政権を樹立しました。

江戸時代には、放生津は廻船業と漁業の港町として栄えます。また、1660年代以降、大門、大島、小杉、下地区を通る北陸道が整備され、大門新町、小杉新町、下村は、多くの人々や文物が行き来する宿場町として栄えました。さらに、地域の経済的・文化的発展により、放生津、海老江、大門では豪華な曳山が作られ、現在も住民一体となって祭事が行われています。

大正時代、射水郡長となった南原繁の建議により射水平野の排水機能が向上し、1963(昭和38)年に着手した国営射水平野農業水利事業によって、湿田平野は肥沃な乾田農地となりました。翌1964年には、「富山・高岡新産業都市」の指定を機に放生津潟を掘り込み、富山新港の建設が始まりました。これに伴い、港周辺には臨海工業団地、県民公園太閤山ランドが造成され、大学や研究機関も進出しました。富山新港は、1986(昭和61)年に特定重要港湾(現在の国際拠点港湾)に指定され、地域経済の拠点として現在も港湾機能強化が図られています。

こうした歴史を背景とし、産業、経済、文化、生活等の結び付きのほか、地理的、行政的にもつながりの強い、新湊市、小杉町、大門町、大島町、下村の一市三町一村が合併し、2005(平成17)年11月1日に射水市が誕生しました。

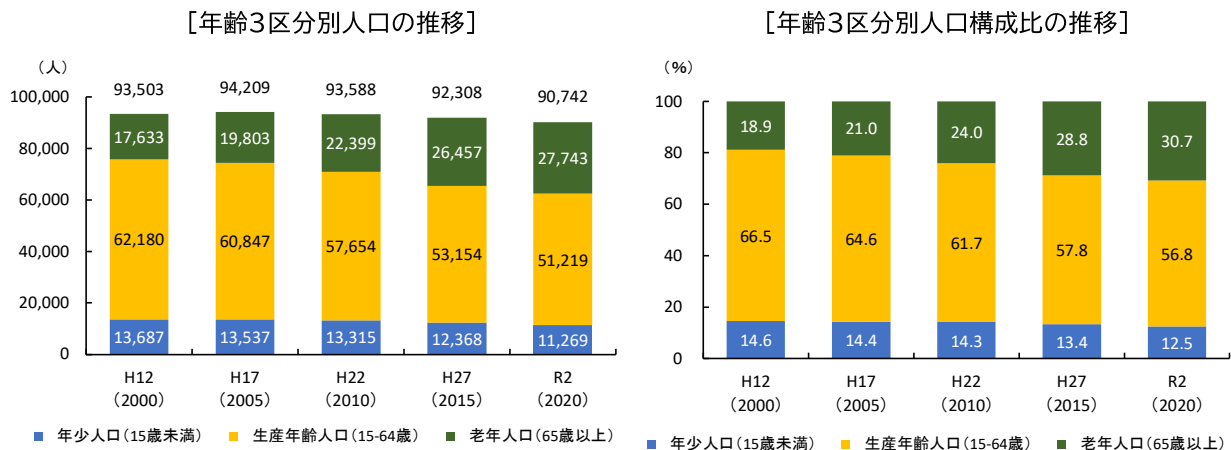
射水市では、市民と行政との協働によるまちづくりを基本姿勢として、子育て支援や教育環境の充実といった将来を担う子どもたちへの施策をはじめ、東日本大震災を教訓とし、防災拠点となる本庁舎の整備やデジタル防災行政無線の運用等の安全安心なまちづくりの推進、新湊大橋の開通や北陸新幹線の開業を契機とした観光振興、更には、雇用の創出を図る企業誘致等を重点施策と位置づけ、各施策に積極的に取り組んでいます。

(2) 人口・世帯

①人口の推移 ～人口減少・少子高齢化が進行～

国勢調査によると、本市の人口は平成17(2005)年の94,209人をピークに減少に転じ、令和2年には90,742人となっています。

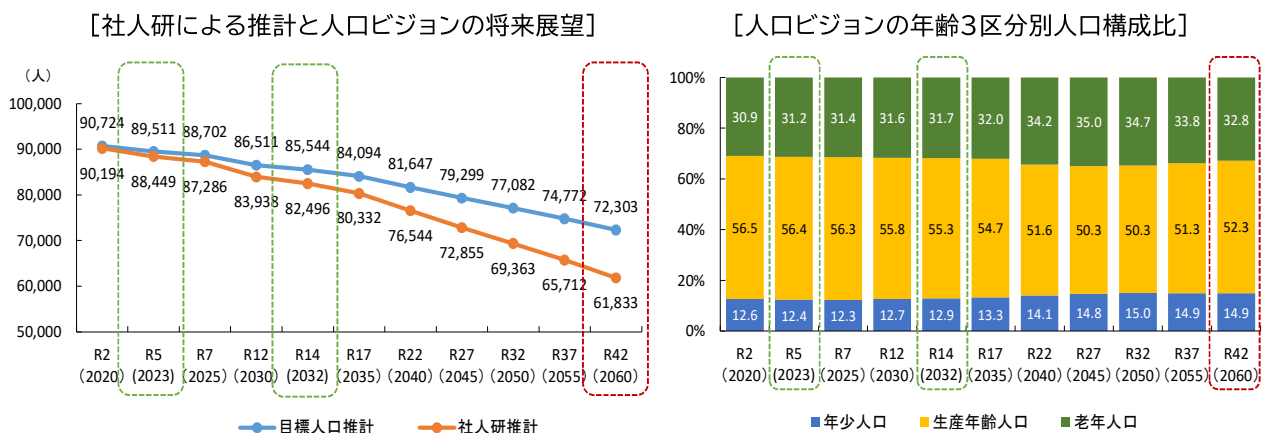
年齢3区分別にみると、生産年齢人口が減少し、老年人口が増加しており、全人口に占める老年人口の割合(高齢化率)は、令和2(2020)年時点で30.7%まで上昇しています。



②人口の将来展望 ～2060年の人口 72,000人を目標～

令和元(2019)年度に見直しを行った人口ビジョンでは、安心して出産・子育てできる環境の整備や若者の定住・移住促進により、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計に比べ、10年間で約5千人、20年間で約1万人の人口減少を抑制するとともに、年少人口、生産年齢人口の割合を上昇させていくことを目指しています。

なお、前述のとおり、令和2(2020)年国勢調査による人口は90,742人となっており、人口ビジョンの目標人口90,724人を上回っています。



[目標人口算定における仮定値]

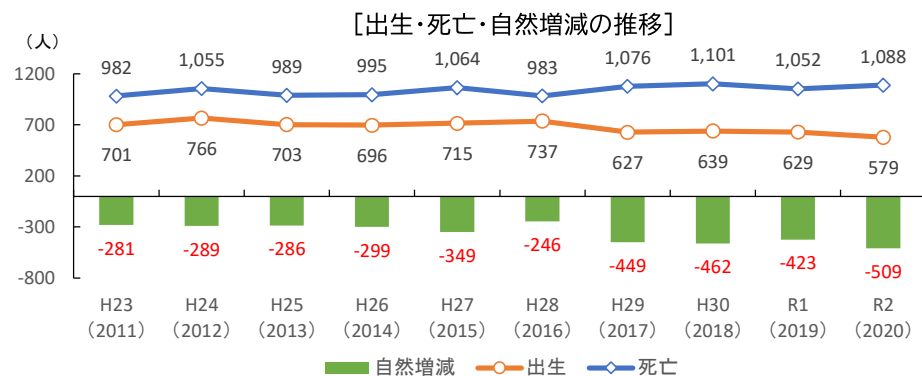
合計特殊出生率	R12までに1.837(市民希望出生率)、R22までに2.07(人口置換水準)
純移動数	R12まで社人研の20%増、R17が社人研の10%増、R22以降、社人研の5%増

資料：射水市人口ビジョン(令和元年度改定版)

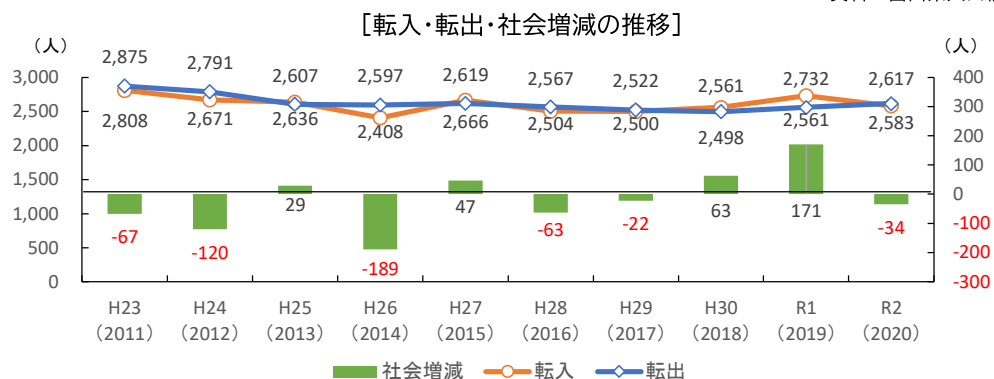
③人口動態 ～自然減は拡大傾向、社会動態は転入超過～

本市の自然動態は、出生数が減少傾向の一方で、死亡数が増加傾向にあり、令和2(2020)年には509人の自然減となっています。

社会動態をみると、転入者数、転出者数とも減少傾向がみられます。年によっては転入超過となり、令和元(2019)年に171人増と大きく転入超過となりましたが、令和2(2020)年は再びマイナスに転じ、34人減となっています。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、移動が制限されたことによるものと考えられます。



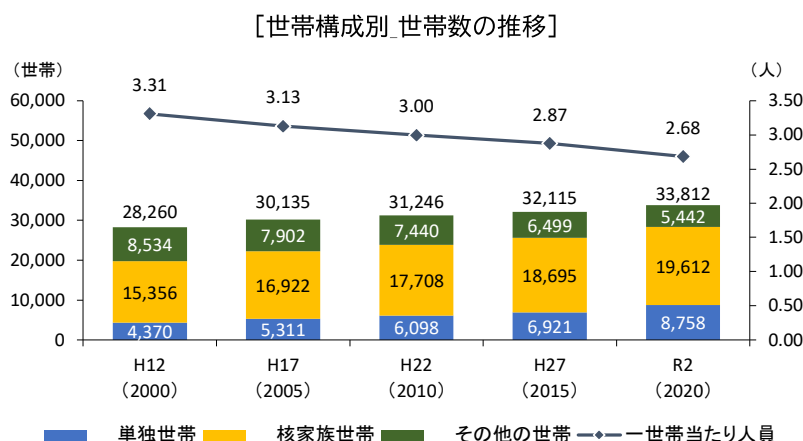
資料：富山県人口移動調査



資料：富山県人口移動調査

④世帯の状況 ～核家族化等が進み、世帯数は増加傾向～

国勢調査から本市の世帯の状況をみると、世帯数は増加しており、令和2(2020)年で33,812世帯となっています。核家族化、ひとり暮らし世帯の増加が進み、1世帯あたり人員が減少しています。



資料：国勢調査

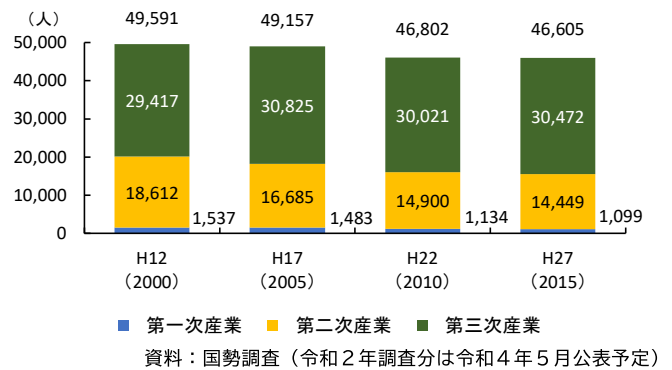
(3) 産業

①産業構造 ～第3次産業の割合が増加、製造業就業者が最も多い～

国勢調査から本市の産業分類別就業者の状況をみると、第三次産業の割合が全体6割以上を占めており、その割合が増加傾向にあります。

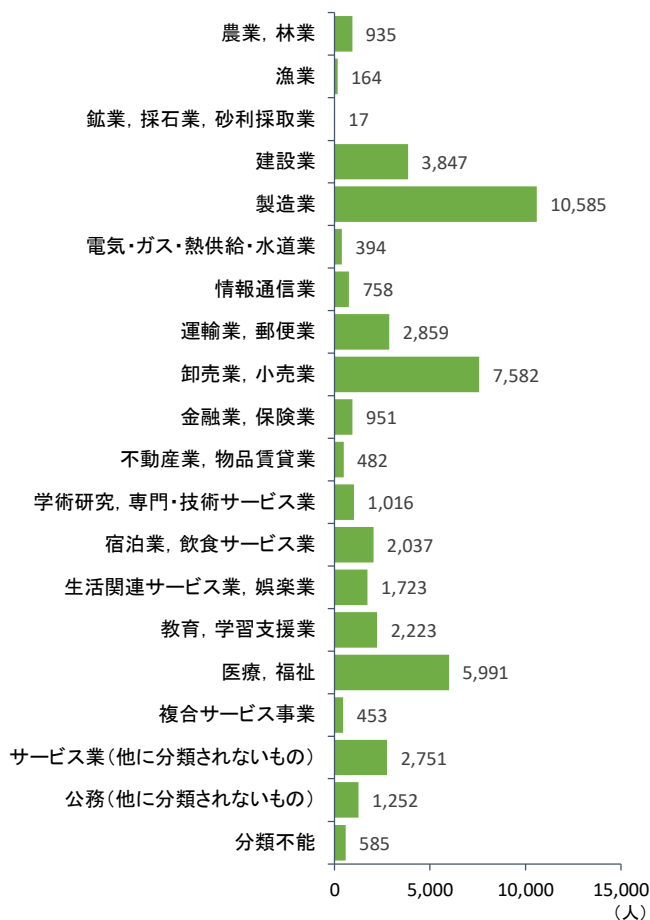
大分類別では、製造業就業者数が最も多く、本市にとって重要な産業となっています。

[産業分類別_就業者数の推移]

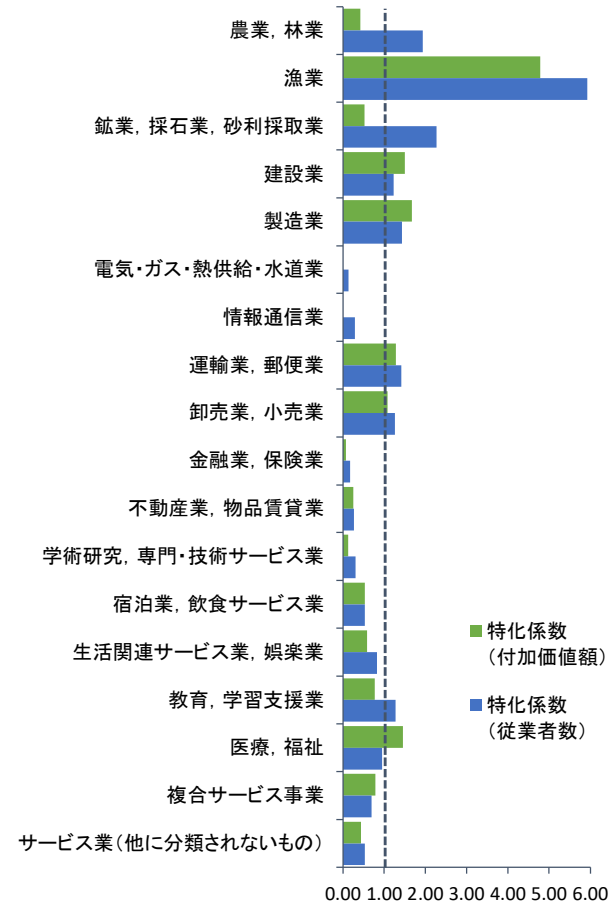


特化係数※をみると、漁業が付加価値額、従業者数ともに全国平均の「1」を大きく上回っており、本市の強みといえます。このほか、付加価値額では製造業、建設業、医療・福祉、運輸業・郵便業で「1」を上回っています。

[大分類別_就業者数(H27)]



[大分類別_特化係数(H28)]

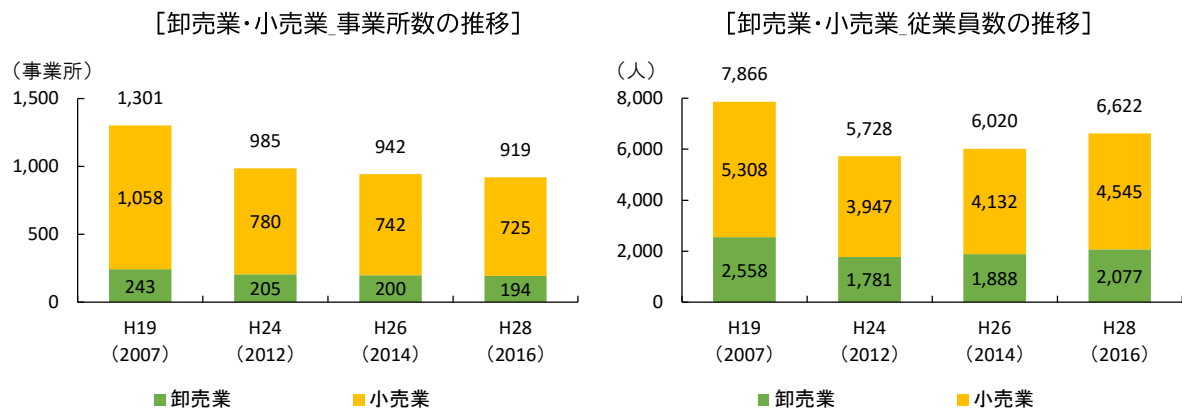


※特化係数とは、全国における各産業の構成比を1とした場合の当該地域の各産業の構成比のことで、その地域の産業がどれだけ特化しているかを示すもの。当該地域構成比÷全国の構成比で算出される。

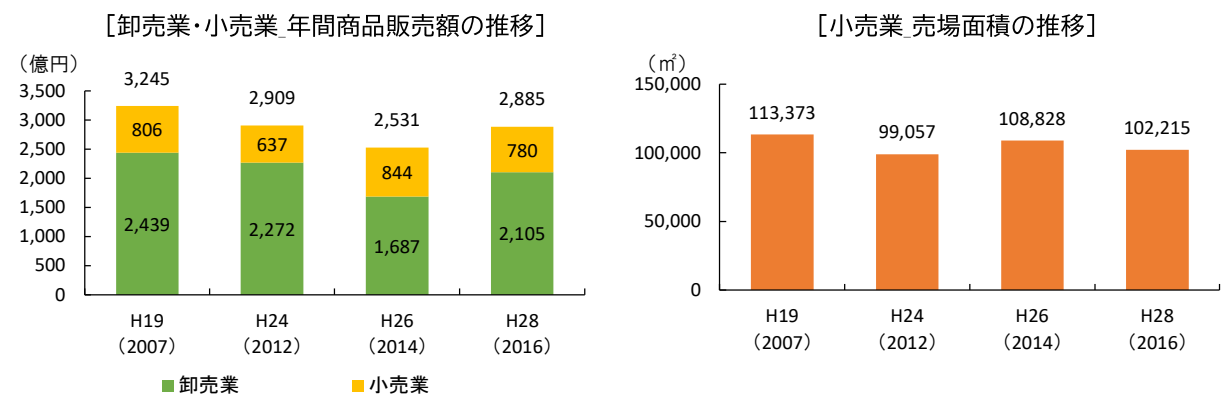
②商工業 ～商店・事業所数は減少も、販売額・出荷額等は回復傾向～

本市の商業の状況は、平成19(2007)年から平成26(2014)にかけて事業所数が大幅に減少し、その後も減少傾向が続いており、平成28(2016)年で卸売業が194事業所、小売業が725事業所となっています。一方、従業員数は、平成24(2012)年以降、増加傾向がみられるほか、小売業の売場面積は概ね横ばいで推移しており、事業所・店舗の大型化がうかがえます。

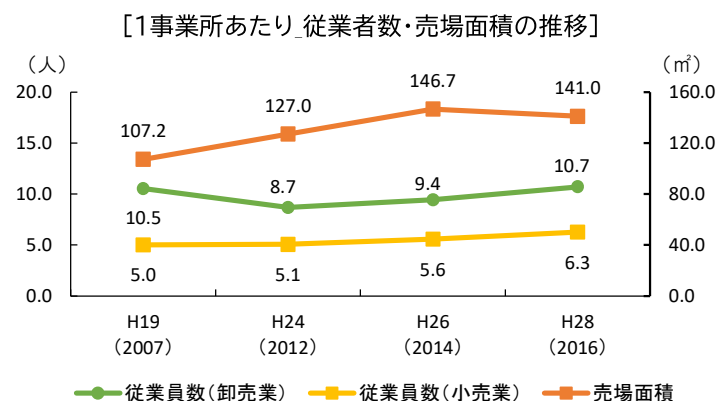
年間商品販売額は、卸売業、小売業ともに年によって増減し、平成28(2016)年には、卸売業で約2,105億円、小売業で約780億円となっています。



資料：H19 商業統計調査、H24、H28 経済センサス-活動調査-、H26 経済センサス-基礎調査-
(次回：令和3年経済センサス活動調査)



資料：H19 商業統計調査、H24、H28 経済センサス-活動調査-、H26 経済センサス-基礎調査-



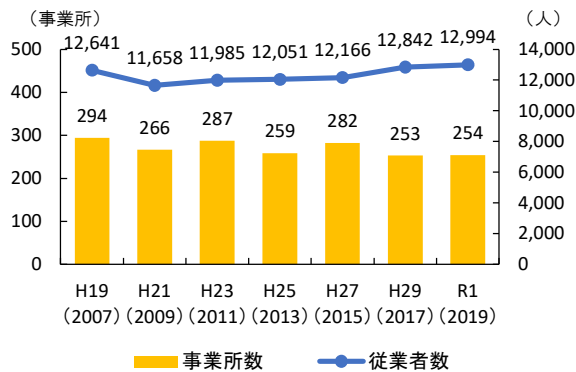
資料：H19 商業統計調査、H24、H28 経済センサス-活動調査-、H26 経済センサス-基礎調査-

本市には製造業の事業所が集積しており、特に「非鉄金属製造業」が製造品出荷額等の5割以上を占めるほか、「鉄鋼業」の割合も高くなっています。

事業所数、従業者数の推移をみると、事業所数は減少傾向、従業者数は増加傾向がみられ、1事業所あたり従業者数が増加してきています。

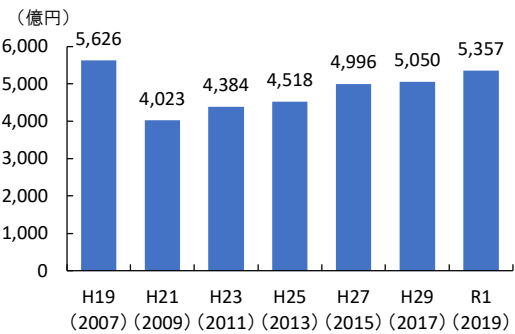
製造品出荷額等は、リーマンショックにより大きく減少し、その後、令和元年には約5,357億円まで回復してきていますが、リーマンショック以前の水準には届いていない状況です。

〔製造業_事業所数・従業員数の推移〕



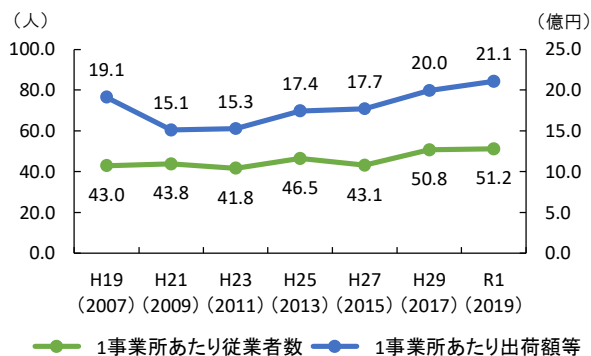
資料：工業統計調査

〔製造業_製造品出荷額等の推移〕



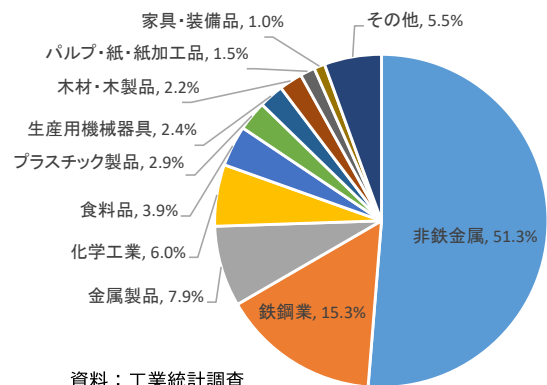
資料：工業統計調査

〔1事業所あたり従業員数・出荷額の推移〕



資料：工業統計調査

〔中分類別_製造品出荷額等の構成比〕



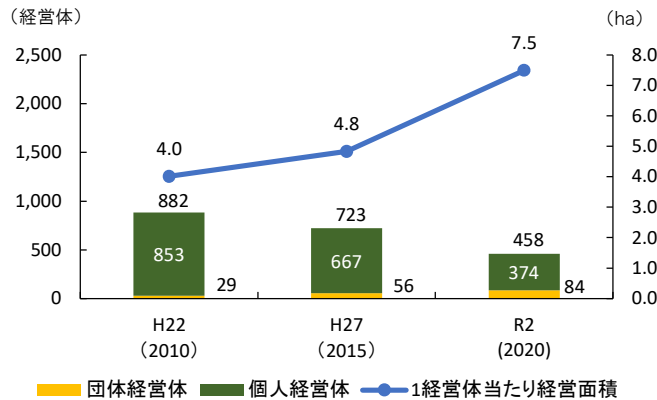
資料：工業統計調査

③農林漁業 ～個人経営が減少、集落営農の組織化が進行。担い手の高齢化が課題～

本市の農業経営体数は減少していますが、個人経営から集落営農等の団体経営への移行により、経営耕地の集積・集約化が進んでいます。

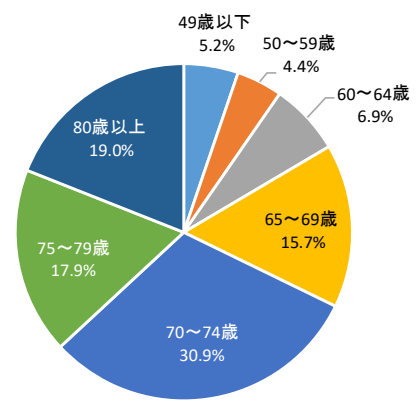
本市の基幹的農業従事者のうち、65歳以上の従事者が8割以上を占めており、担い手の高齢化が課題となっています。

〔農業経営体数・1経営体当たり耕地面積の推移〕



資料：農林業センサス

〔基幹的農業従事者の年齢構成〕

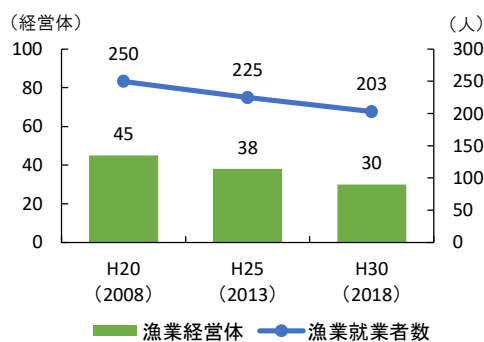


資料：農林業センサス

本市の漁業経営体及び漁業就業者は減少しており、平成30(2018)年で30経営体、203人となっています。

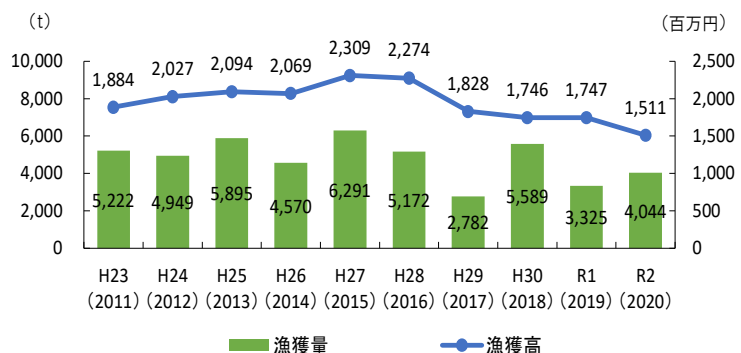
漁獲量は年によって増減があり、この10年間で最も多いのが平成27(2015)年の6,291トン、最も少ないのが平成29(2017)年の2,782トンとなっています。漁獲高は、平成27(2015)年まで増加していましたが、その後、減少傾向が続き、令和2(2020)年には約15億円まで落ち込んでいます。

〔漁業経営体数・漁業就業者数の推移〕



資料：漁業センサス

〔漁獲量・漁獲高の推移〕



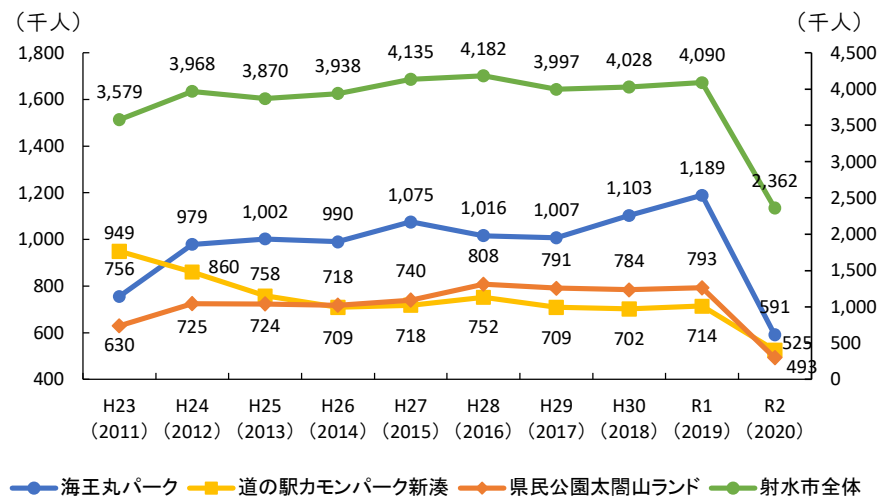
資料：農林水産課

④観光 ～懐かしさと新しさの中に食・景観・文化の魅力を満喫できるまちを目指して～

本市は、シロエビやベニズワイガニをはじめとする豊かな食、海王丸、新湊大橋、内川周辺の水辺空間や旧北陸道の歴史ある街道等の景観、曳山祭りをはじめ受け継がれてきた祭りや伝統文化など、様々な観光資源を有しています。

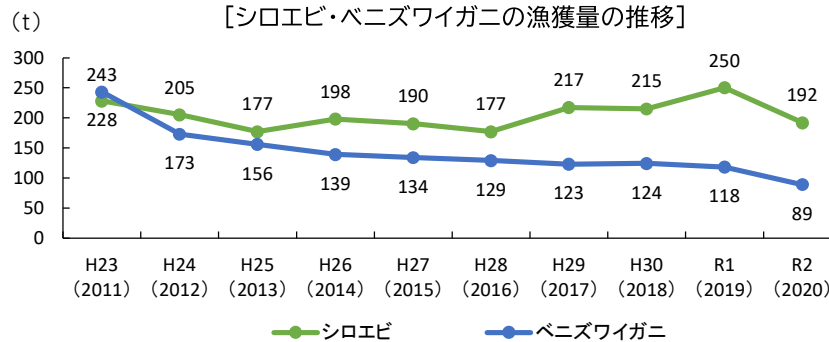
観光客の入込数は、平成24(2012)年以降、4百万人前後で推移していましたが、令和2(2020)年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大きく落ち込んでいます。

〔観光客入込数の推移(各年)〕



資料：富山県観光客入込数等

〔シロエビ・ベニズワイガニの漁獲量の推移〕



資料：農林水産課

〔４〕都市基盤

①公共交通

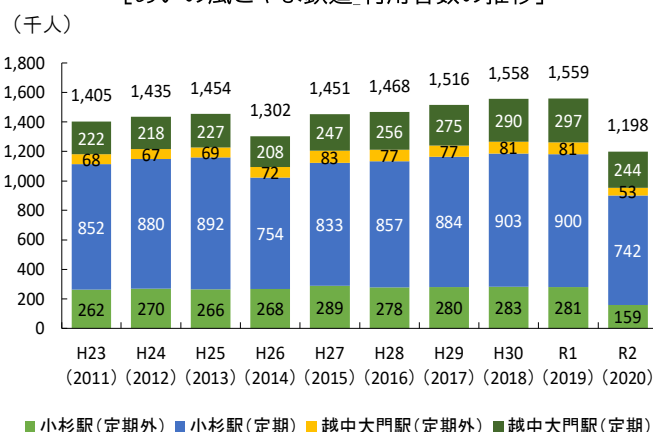
平成27年に開業した北陸新幹線により、本市と首都圏が約2時間で結ばれています。

市内の交通網は、中央部にあいの風とやま鉄道、臨海部に万葉線が走っています。あいの風とやま鉄道は、市内に小杉駅、越中大門駅の2駅が設置されており、令和元(2019)年度まで利用者数は増加傾向にありましたが、令和2(2020)年度に減少しています。また、万葉線は、市内に9か所の駅があり、平成27(2015)年度以降、利用者数は110万人台で推移していましたが、令和2(2020)年度に減少しています。

このほか、コミュニティバス、デマンドタクシー等の公共交通が運行されています。コミュニティバスの利用者数は、平成24(2012)年度以降に減少傾向となった後、平成30(2018)年度にかけて増加し、約40万人まで回復しましたが、令和元(2019)年度以降減少に転じています。デマンドタクシーの利用者数は、平成24(2012)年度の本格運行開始以降、年度による差は見られるものの、概ね年間14,000人前後で推移しています。

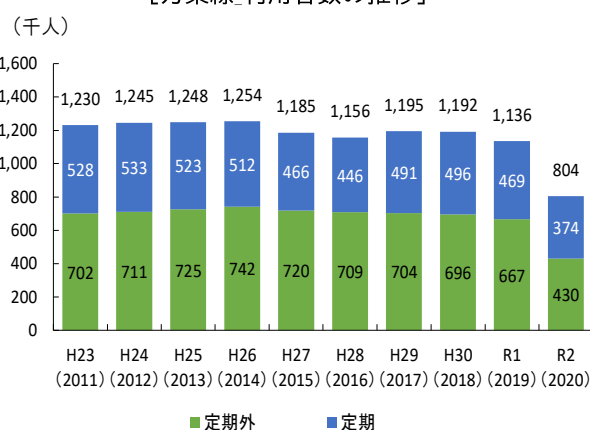
各公共交通機関における令和元年度以降の減少要因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による移動の制限や学校の休業等の影響によるものと推測されます。

〔あいの風とやま鉄道_利用者数の推移〕



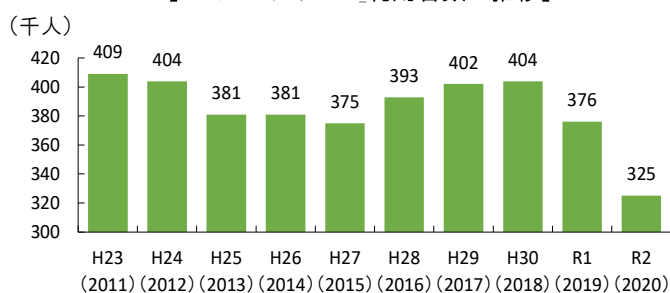
資料：あいの風とやま鉄道株式会社

〔万葉線_利用者数の推移〕



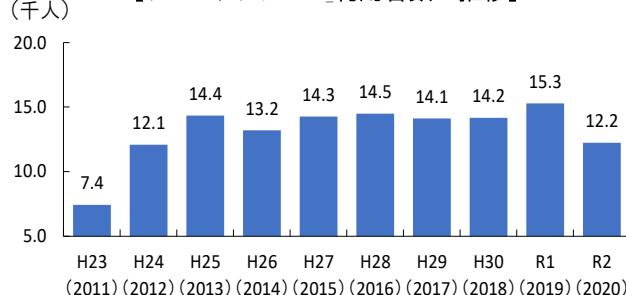
資料：万葉線株式会社

〔コミュニティバス_利用者数の推移〕



資料：生活安全課

〔デマンドタクシー_利用者数の推移〕



資料：生活安全課

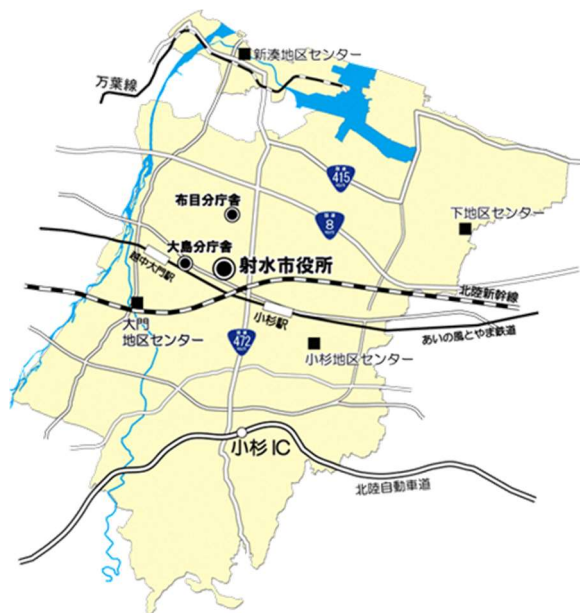
②道路

本市の主な道路網として、東西に北陸自動車道、国道8号、国道415号、主要地方道富山高岡線、主要地方道高岡小杉線が、南北に国道472号が整備され、都市間及び都市内を結ぶ幹線軸となっています。

新湊大橋は東西のバイエリアをつなぐとともに、本市のランドマークとなっています。

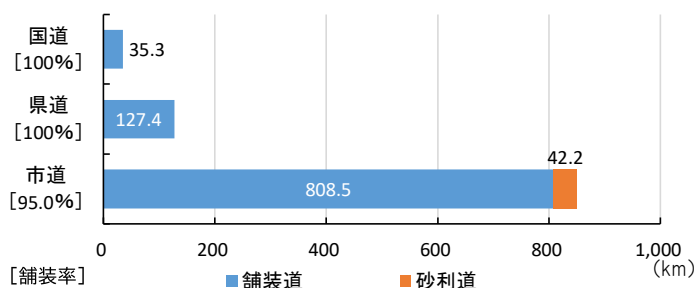
令和2年度末の道路延長は、国道が35.3km、県道が127.4km、市道が延長は850.7km、市道の舗装率は95.0%となっています。

主要道路の自動車交通量をみると、多くの路線で、平成22(2010)年に比べて平成27(2015)年の交通量が増加していますが、国道415号及び国道472号で減少しています。これは、新湊大橋の開通や都市計画道路七美太閤山線戸破高架橋の完成により、富山西インターの利用が増加したことが要因と考えられます。



射水市ホームページより引用

[道路延長・舗装状況(令和2年度末)]



資料：用地・河川管理課

[自動車保有台数] 単位：台

区 分	平成22年度 (2010)	平成27年度 (2015)	令和2年度 (2020)
貨 物	普 通	3,495	3,526
	小 型	3,202	2,932
	被けん引	307	348
乗 合		129	120
乗 用	普 通	12,722	14,344
	小 型	24,669	20,015
特 殊		1,963	1,985
小型二輪車		860	957
軽自動車	貨 物	7,390	6,821
	乗 用	21,887	25,761
	二 輪	703	774
	合 計	77,327	80,078
合 計		77,327	81,280

資料：課税課

[主要道路の自動車交通量]

単位：台/日

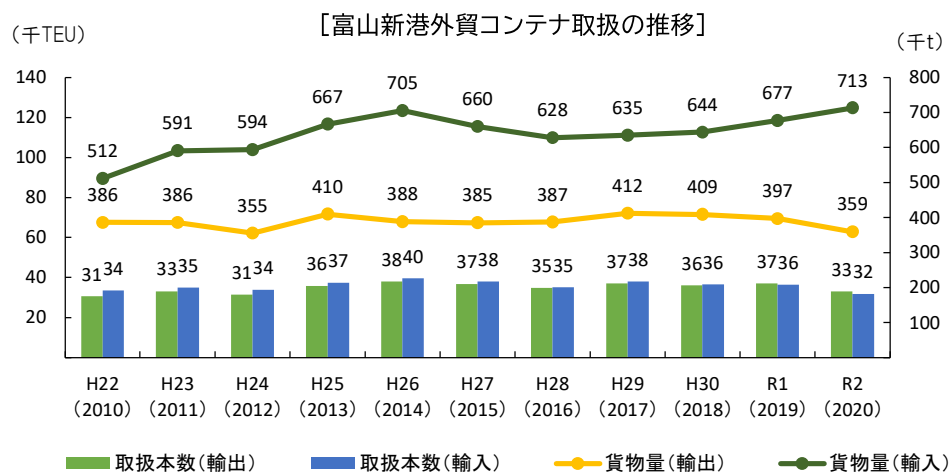
路線名	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)
北陸自動車道 (小杉IC～砺波IC)	28,000	30,800	33,100
国道8号 (沖塚原地内)	44,200	39,500	42,400
国道415号 (久々湊地内)	13,200	12,000	4,300
国道472号 (橋下条地内)	23,400	21,400	16,800
県道富山高岡線 (若杉地内)	19,900	19,000	22,600(推計)
県道高岡小杉線 (広上地内)	30,300	28,700	35,200(推計)
県道新湊庄川線 (善光寺地内)	11,500	10,900	13,000(推計)
県道大門針原線 (大門地内)	21,100	20,900	24,500(推計)

資料：道路課

③港湾

富山新港は、臨海工業地域の流通拠点として昭和43(1968)年に開港しました。ロシア極東、韓国、中国、中国・韓国の外貿定期コンテナ航路が就航しており、国際拠点港湾である伏木富山港の中核的役割を果たしています。

富山新港における外貿コンテナ取扱の推移をみると、取扱本数は、平成22(2010)年から平成26(2014)年にかけて増加し、その後、概ね横ばいで推移していましたが、令和2(2020)年は減少しています。貨物量は、平成30(2018)年以降、輸出で減少傾向、輸入で増加傾向がみられます。



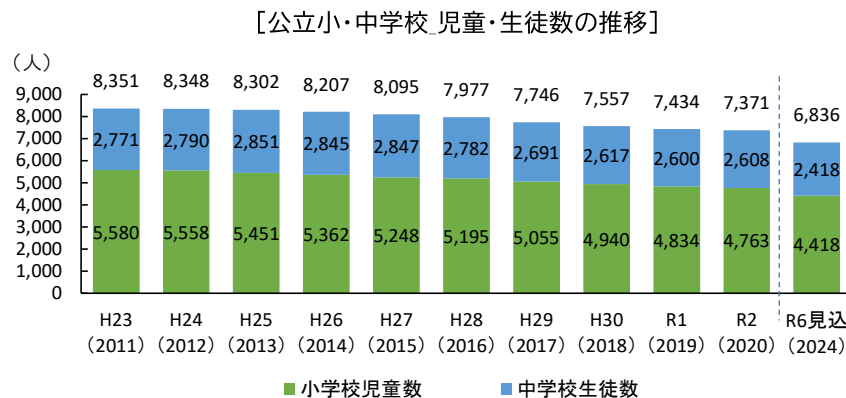
資料：富山新港出入貨物統計書

(5) 教育

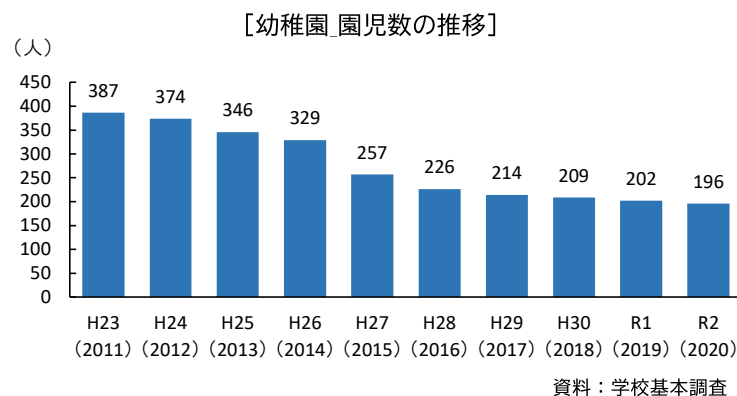
①幼稚園・小中学校 ～少子化に伴い児童・生徒数が減少～

本市には、令和2年5月現在、幼稚園4園、小学校16校、中学校6校が設置されています（公立・私立含む）。少子化に伴い、児童・生徒数が減少してきており、令和6（2024）年には、令和2（2020）年から約7%減少するものと見込まれます。

幼稚園では、少子化に加え、保育ニーズの高まり等から減少傾向が顕著となっており、特に平成27（2015）年まで大きく減少した後、微減傾向が続いています。



資料：R2まで学校基本調査、R6見込は学校教育課



②高等学校、高等教育機関 ～それぞれが特色を活かした連携事業を推進～

市内に県立高等学校3校及び富山県立大学など高等教育機関4校が立地しています。

高等教育機関とは包括的な連携協定を締結し、産業、教育、地域づくりなど、多方面で相互に協力し、地域の発展と人材の育成を推進しており、まちづくりにおける本市の強みとなっています。

また、県立高等学校3校と市との連絡会議を設置し、郷土愛を育む事業や地域活性化事業等に連携して取り組んでいます。

(6) 文化財 ～指定・登録文化財 146 件が所在～

本市には、歴史資料「石黒信由関係資料」、無形民俗文化財「越中の稚児舞」、「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」、史跡「小杉丸山遺跡」・「串田新遺跡」の国指定文化財が5件、県・市指定文化財が131件、国登録有形文化財が10件、合計146件の指定・登録文化財が所在し、保存・継承に取り組んでいます。

[指定文化財・登録文化財数]

	国	県	市	計
有形文化財	1	11	64	76
民俗文化財	2	3	16	21
記念物	2	9	28	39
登録有形文化財	10	-	-	10

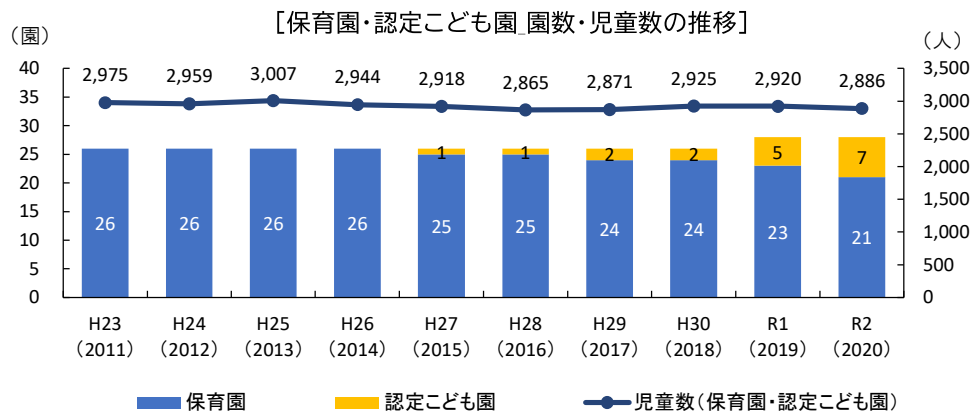
資料：射水市統計書（令和2年度版）

(7) 福祉

①子育て支援

本市では、保育ニーズに応じた保育園の整備を進めており、平成27(2015)年からは、新制度に伴い、一部園で認定こども園への移行を行っています。

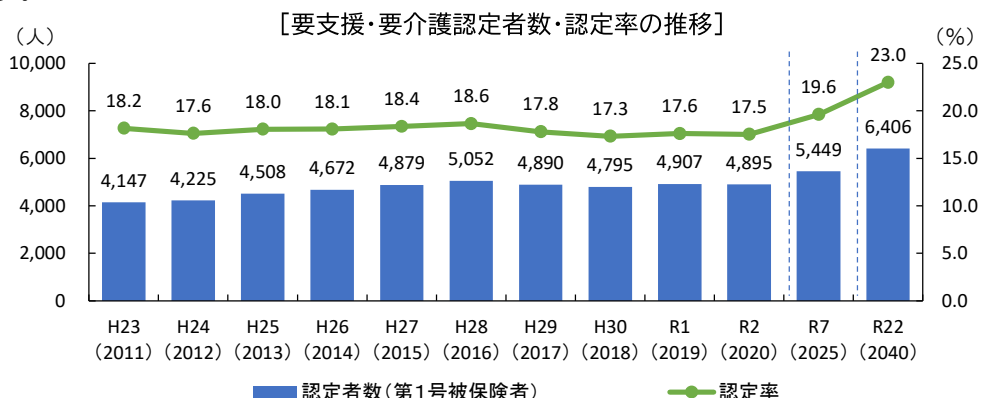
利用者数の推移をみると、概ね3,000人弱で推移していましたが、令和元年以降、減少しており、令和2年で保育園・認定こども園あわせて2,886人となっています。



②高齢者福祉

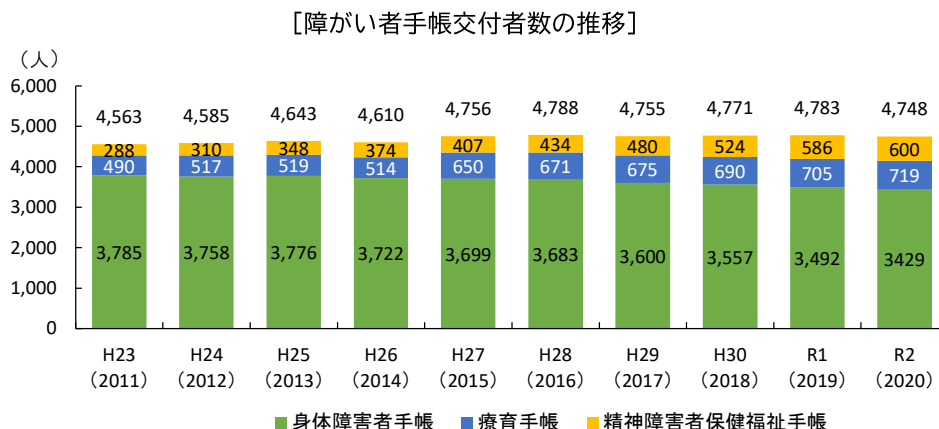
本市の要支援・要介護認定者数は、平成28(2016)年まで増加傾向にありましたが、その後、高齢者数が増加する中においても約5,000人で推移しており、被保険者数に占める割合(認定率)も低下しています。

しかしながら、今後、団塊の世代が後期高齢者となるなど、介護ニーズが高まることが予想され、令和22(2040)年には、認定者数が約6,400人、認定率が23%まで上昇すると見込まれます。



③障がい者福祉

本市の障がい者手帳交付者数は、令和2(2020)年時点で4,748人となっています。手帳別に交付者数の推移をみると、身体障害者手帳交付者数は減少し、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳交付者数が増加しています。

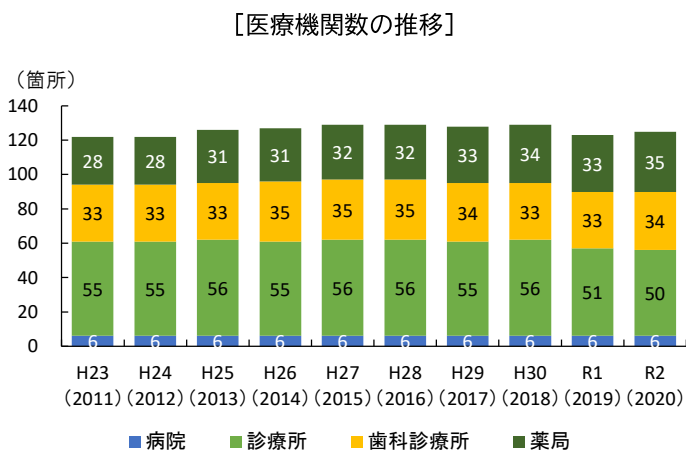


資料：社会福祉課

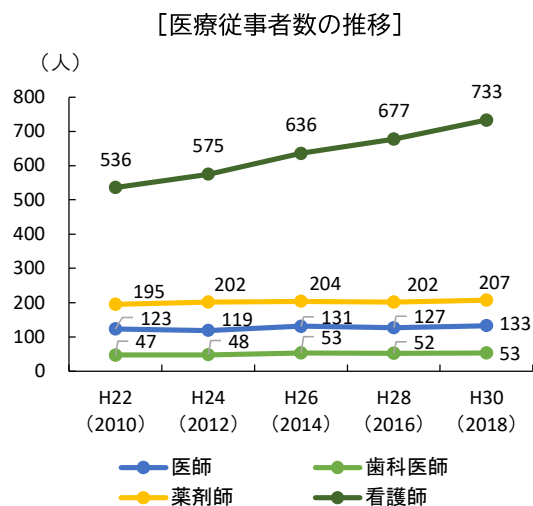
(8) 医療機関

市内には、令和2年12月現在で、市民病院など病院が6施設、診療所が50施設、歯科診療所が34施設、薬局が35施設あります。この10年間の推移をみると、診療所が減少し、薬局が増加傾向にあります。

市内の医療従事者は、医師、薬剤師、看護師などで増加してきており、特に看護師の増加が顕著となっています。



資料：富山県高岡厚生センター



資料：富山県高岡厚生センター

(9) 財政

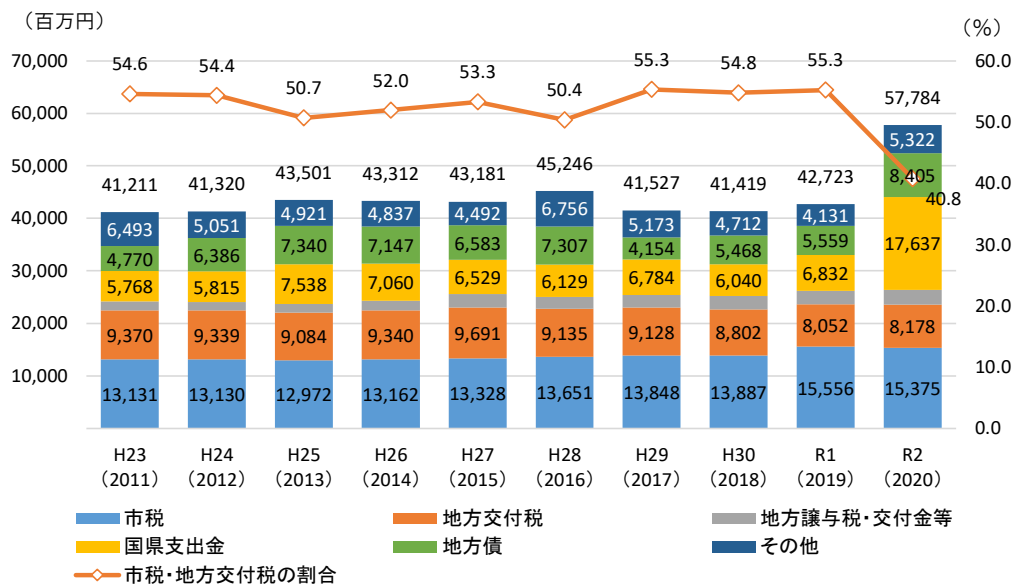
①決算額と歳入歳出の内訳

本市の普通会計の決算額は、約420億円前後で推移していましたが、令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、国庫支出金等を活用した事業費の増加もあり、約562億円となっています。

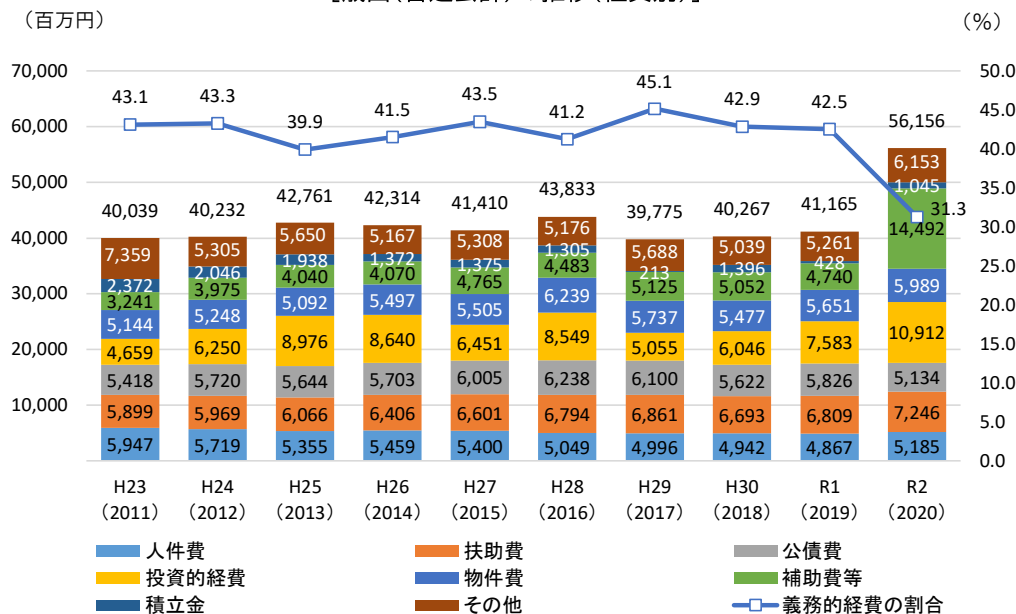
歳入の内訳をみると、歳入のうち一般財源となる地方税及び地方交付税は、令和2(2020)年度を除き、全体の50～55%程度となっています。

また、歳出の内訳をみると、令和2(2020)年度を除き、人件費、扶助費、公債費等の義務的経費については、人件費を抑制してきた一方で、社会保障費の増大に伴い扶助費が増加傾向にあり、全体の40～45%程度で推移しています。

[歳入(普通会計)の推移]

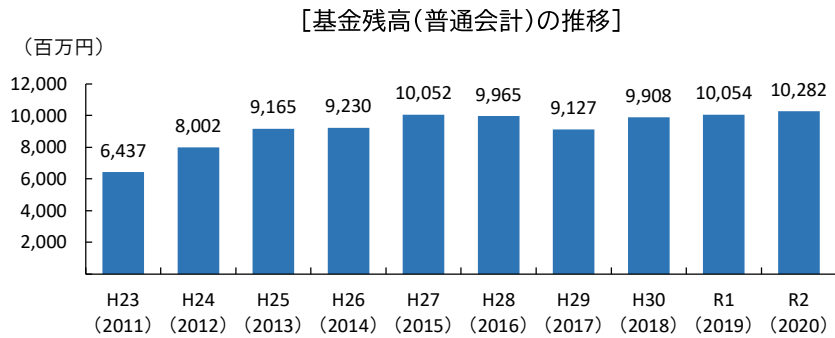


[歳出(普通会計)の推移(性質別)]



②基金残高

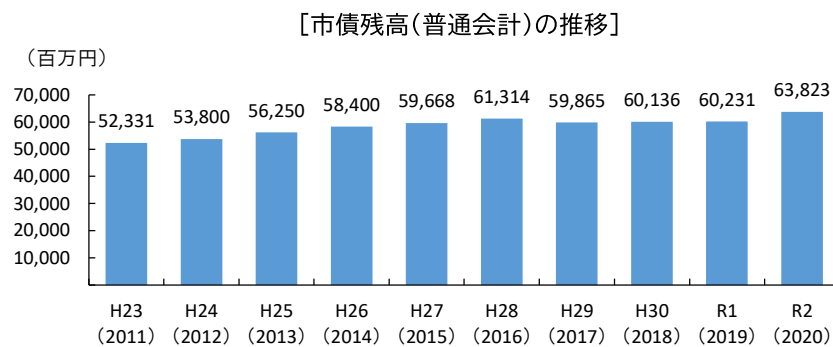
本市の基金残高は、平成29(2017)年度に大きく取り崩して以降、再び着実に増加し、令和2(2020)年度には、約103億円となっています。



資料：財政課

③市債残高

本市の市債残高は、平成27(2015)年度以降、600億円前後で推移してきましたが、令和2(2020)年度に増加し、約638億円となっています。

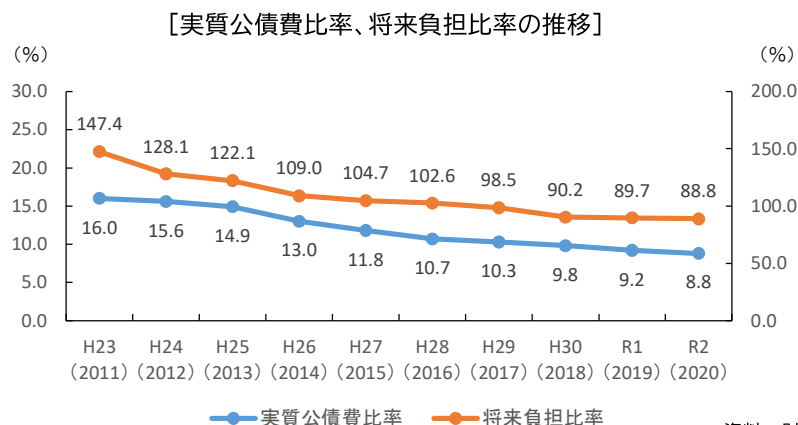


資料：財政課

④健全化指標

本市の実質公債費比率及び将来負担比率の数値は減少(改善)し続けており、令和2(2020)年度で、実質公債費比率が8.8%、将来負担比率が88.8%となっています。

本市では、財政健全化の推進のため、市の借金である市債の発行にあたり、これまで合併特例事業債などの有利な市債を最大限に活用するとともに、市債の繰上償還や市の貯金である基金へ積み立てるなど、健全財政を堅持しています。



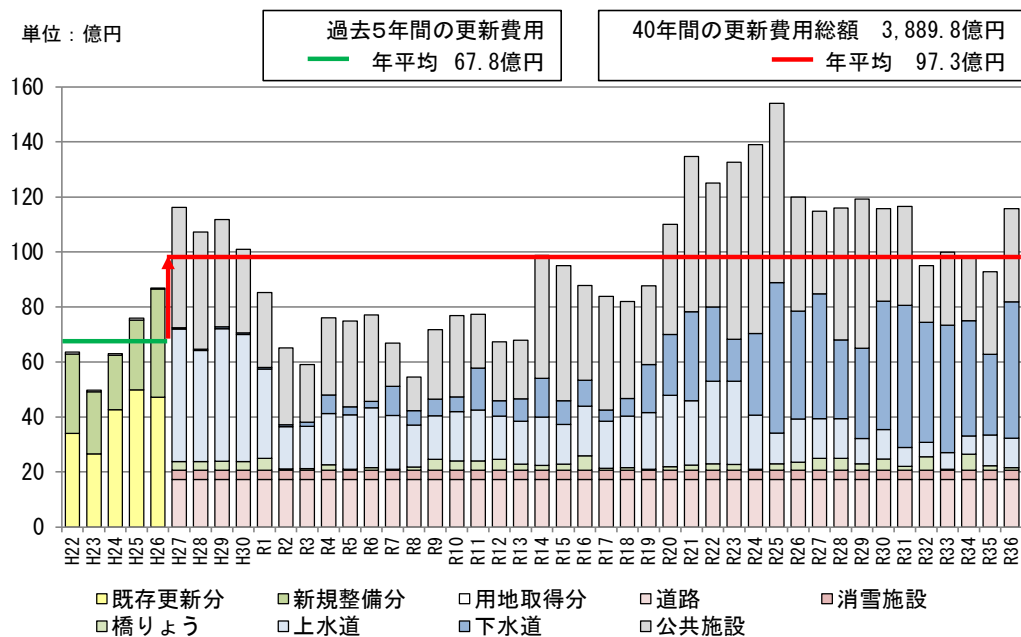
資料：財政課

⑤公共施設等

公共施設(建物)とインフラ資産(道路・橋りょう、上下水道等)の平成27年度から40年間の更新費用の合計は、3,889.8億円と推計され、年平均で97.3億円が必要となる見込みです。

このことから、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を着実に推進し、民間活力の導入も図りながら、まちづくりの可能性を広げる公共施設マネジメントに取り組む必要があります。

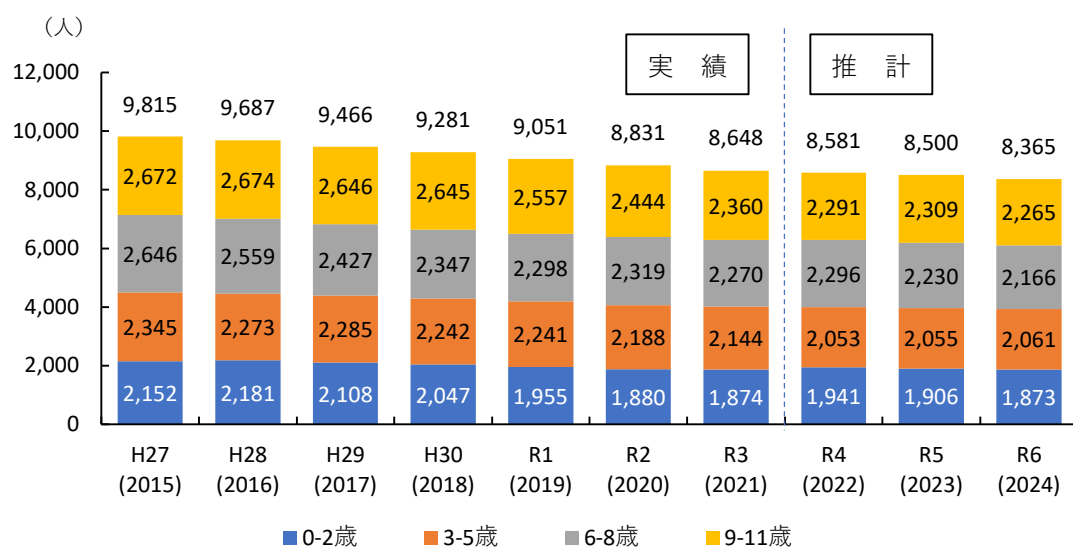
[公共施設(建物)とインフラ資産の更新費用の見通し]



資料：公共施設等総合管理計画
(令和4年3月改訂予定)

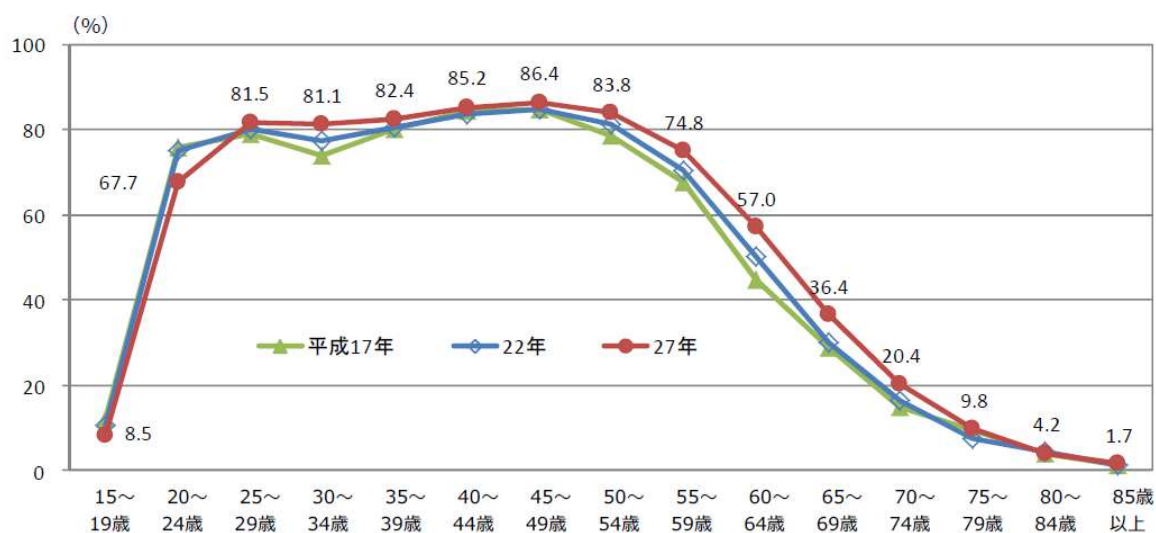
3 参考資料 ―施策評価における統計データ資料―

① 児童人口（0～11歳）



資料：H27～R3 住民基本台帳、R4～R6 第二期子ども・子育て支援事業計画

② 女性の年齢別労働力率



資料：国勢調査(第二期子ども・子育て支援事業計画)

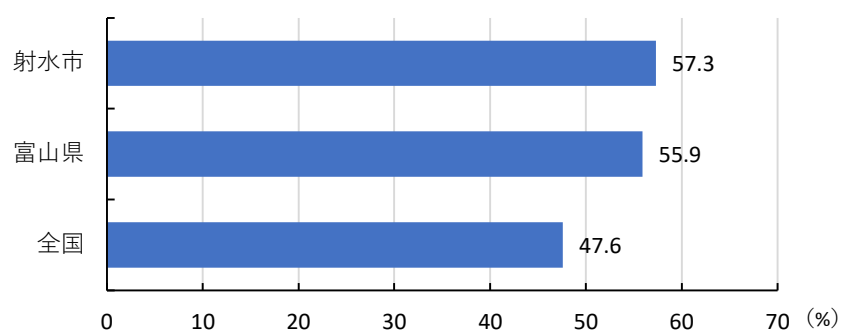
③ 小・中学校 学校数・学級数

		H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
小学校	学校数	15	15	15	16	16
	学級数	177(26)	177(27)	171(29)	169(31)	170(36)
中学校	学校数	6	6	6	6	6
	学級数	80(12)	77(13)	73(12)	73(12)	72(11)

※学級数の（ ）内は特別支援学級数（外数）

資料：学校基本調査（射水市統計書 令和2年度版）

④ 共働き率

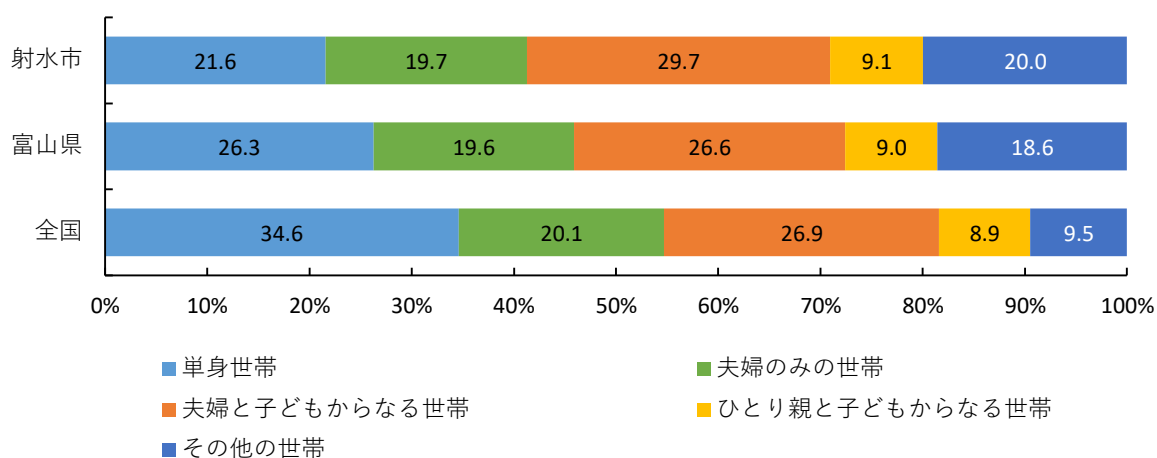


※共働き率・・・夫、妻ともに就業世帯数/夫婦のいる一般世帯数

射水市の「夫婦のいる一般世帯数」には、「労働力状態不詳」を含んでいる。

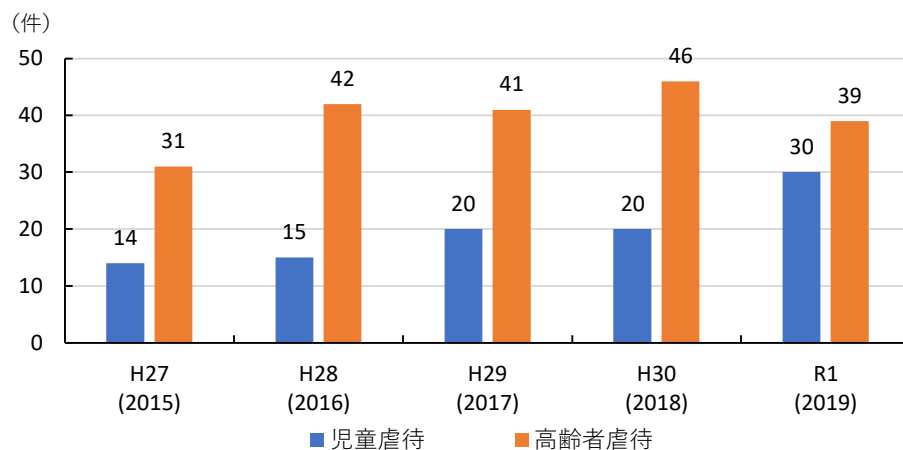
資料：平成27年国勢調査（射水市教育振興基本計画（後期計画））

⑤ 一般世帯の家族類型割合



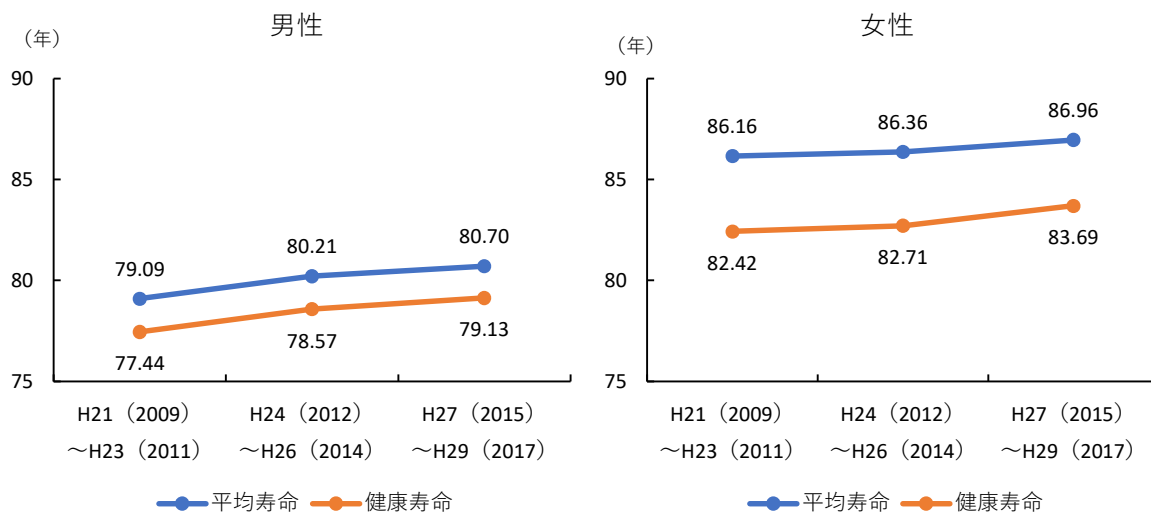
資料：平成27年国勢調査（射水市教育振興基本計画（後期計画））

⑥ 虐待相談件数



資料：児童虐待 子育て支援課、高齢者虐待 地域福祉課（いみず地域共生プラン）

⑦ 平均寿命・健康寿命



資料：射水市保健センター（第2次射水市健康増進プラン）

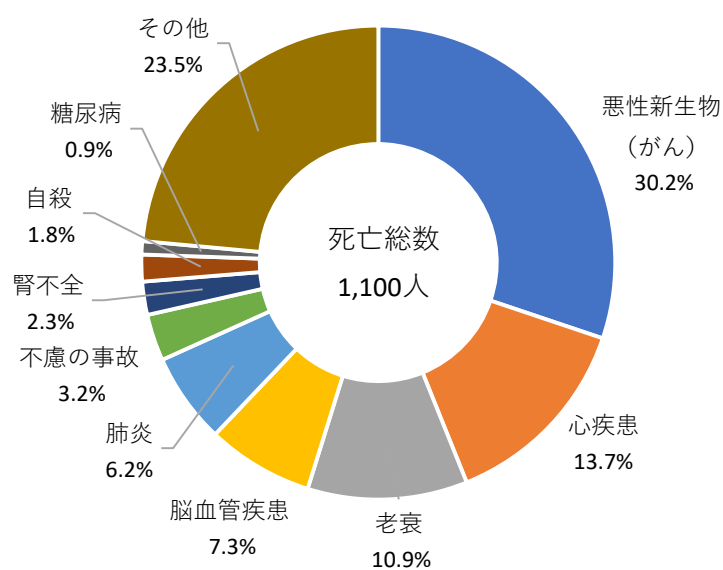
⑧ 標準化死亡比（SMR※）

	H20（2008） ～H22（2010）	H27（2015） ～H29（2017）
脳血管疾患	130.9	88.8
虚血性心疾患	85.8	70.0
がん	110.9	97.7

※「SMR（標準化死亡比）」とは、人口における年齢構成の違いの影響を除いて求められた死亡率のこと。全国平均を100とする。

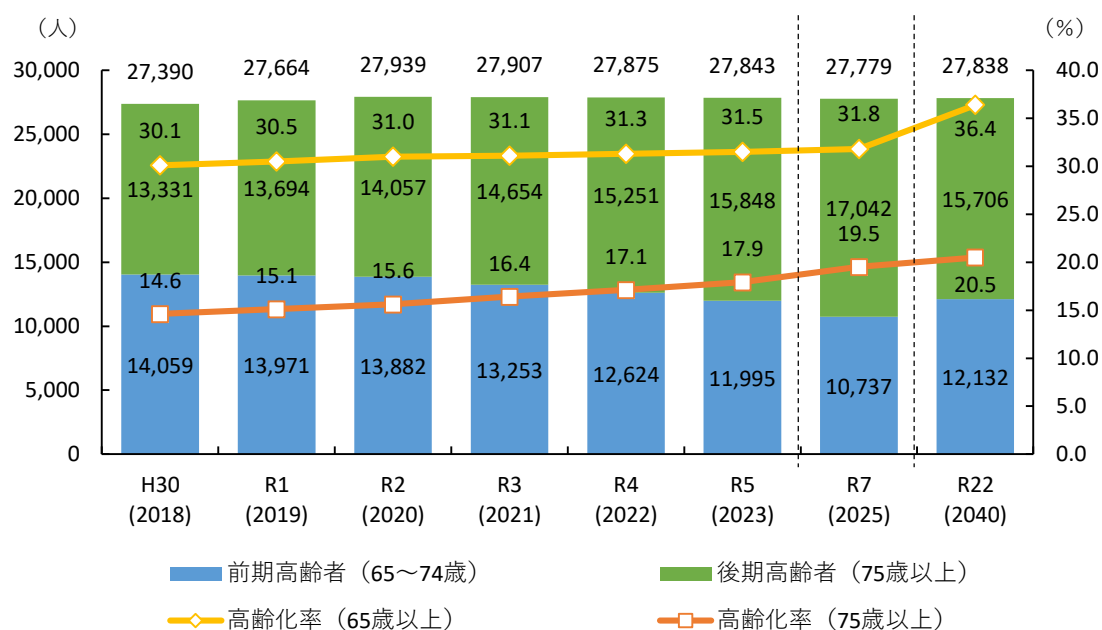
資料：射水市保健センター（第2次射水市健康増進プラン）

⑨ 主な死因別死亡割合



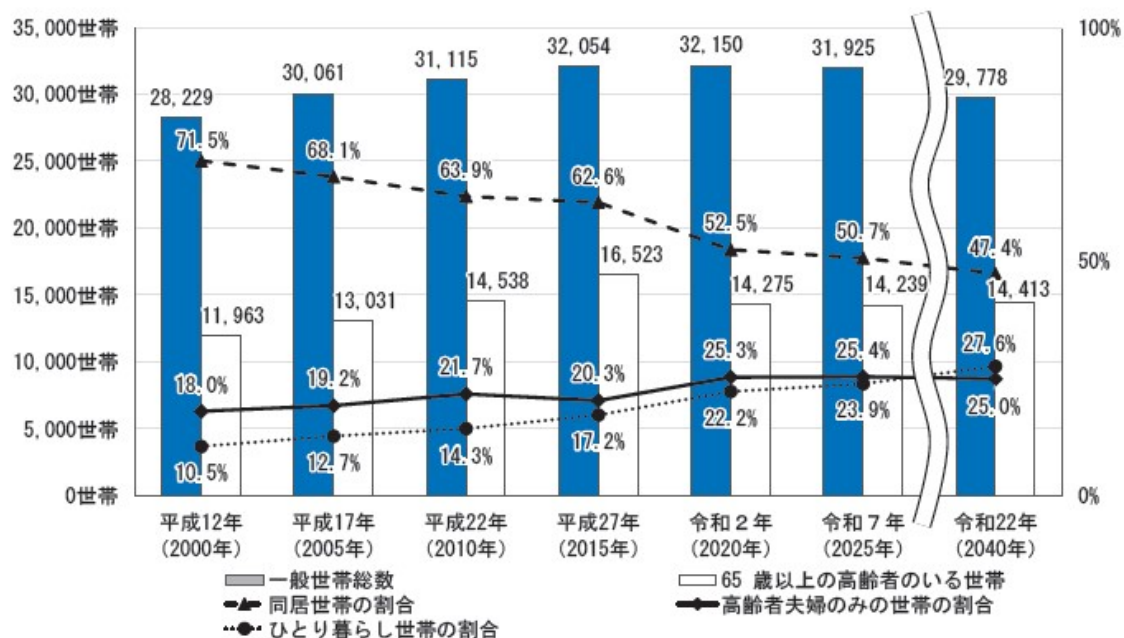
資料：令和2年人口動態統計

⑩ 1号被保険者（65歳以上）



資料：射水市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画

⑪ 高齢者の世帯状況



※令和2年以降については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数将来推計（都道府県別推計）」（2019年推計）を基に算出し、「65歳以上の高齢者のいる世帯」の推計は、「家族類型別世帯主65歳以上の世帯数の推移」を基に推計。

資料：射水市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画

⑫ 市民一人当たり医療費

	射水市	同規模	富山県	国
平成26年度	24,873円	24,081円	25,370円	23,292円
平成27年度	26,827円	25,541円	26,717円	24,452円
平成28年度	26,899円	25,581円	26,717円	24,245円

資料：射水市国民健康保険第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第3期特定健康診査等実施計画

⑬ 疾病別医療費・患者数

■疾病別医療費（上位10項目）

順位	疾病分類（中分類）	医療費(円)	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	365,779,146	5.8%	1,654	221,148
2	0503 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	335,128,203	5.3%	703	476,712
3	0901 高血圧性疾患	331,801,874	5.3%	6,798	48,809
4	0402 糖尿病	302,357,013	4.8%	4,710	64,195
5	0903 その他の心疾患	260,256,541	4.1%	2,665	97,657
6	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	238,469,731	3.8%	528	451,647
7	1113 その他の消化器系の疾患	237,724,536	3.8%	5,869	40,505
8	0403 脂質異常症	198,539,085	3.2%	4,938	40,206
9	1402 腎不全	160,175,598	2.5%	248	645,869
10	0606 その他の神経系の疾患	152,846,135	2.4%	3,917	39,021

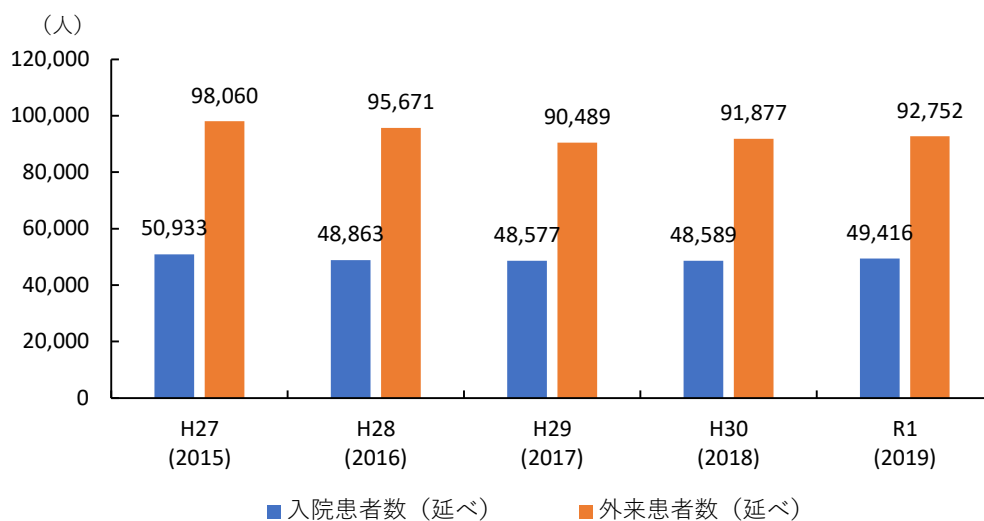
資料：射水市国民健康保険第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第3期特定健康診査等実施計画

■疾病別患者数（上位10項目）

順位	疾病分類（中分類）	医療費(円)	患者数(人)	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0901 高血圧性疾患	331,801,874	6,798	37.7%	48,809
2	1113 その他の消化器系の疾患	237,724,536	5,869	32.6%	40,505
3	0703 屈折及び調節の障害	21,232,761	5,070	28.1%	4,188
4	0403 脂質異常症	198,539,085	4,938	27.4%	40,206
5	0402 糖尿病	302,357,013	4,710	26.1%	64,195
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	144,964,233	4,590	25.5%	31,583
7	1202 皮膚炎及び湿疹	58,248,742	4,445	24.7%	13,104
8	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	73,649,625	4,428	24.6%	16,633
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	48,660,810	4,229	23.5%	11,506
10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	29,356,769	4,055	22.5%	7,240

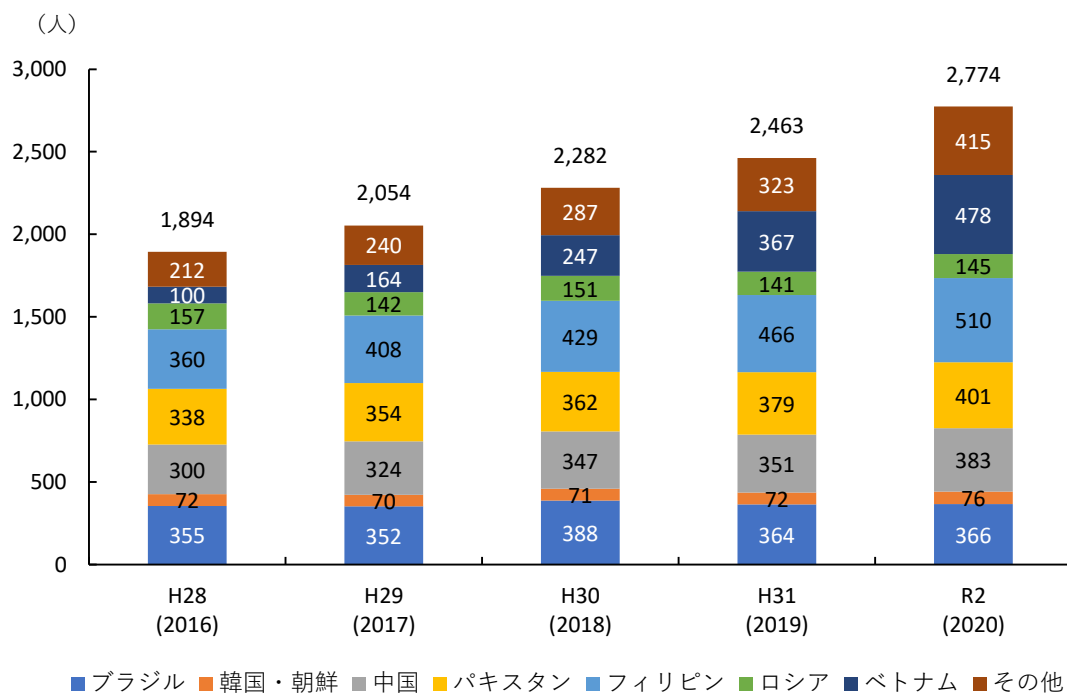
資料：射水市国民健康保険第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第3期特定健康診査等実施計画

⑭ 市民病院 入院患者数・外来患者数



資料：市民病院（射水市統計書 令和２年度版）

⑮ 外国人住民数



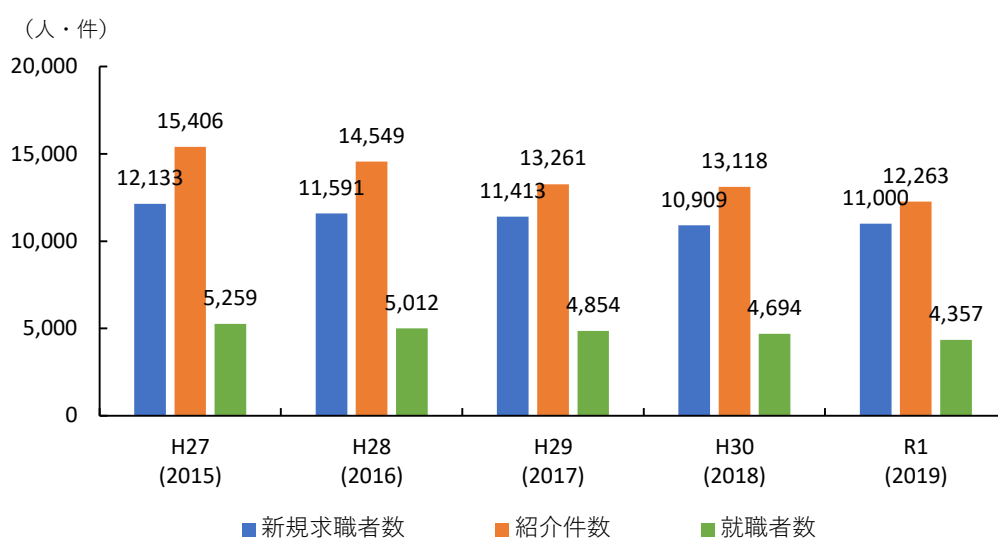
資料：住民基本台帳（射水市統計書 令和２年度版）

⑯ 森林面積

	合計	民有						国有
		計	公有				私有	
			小計	県	公社	市		
平成22年	1,176	1,164	228	53	171	4	936	12
平成27年	1,188	1,178	228	53	171	4	950	10

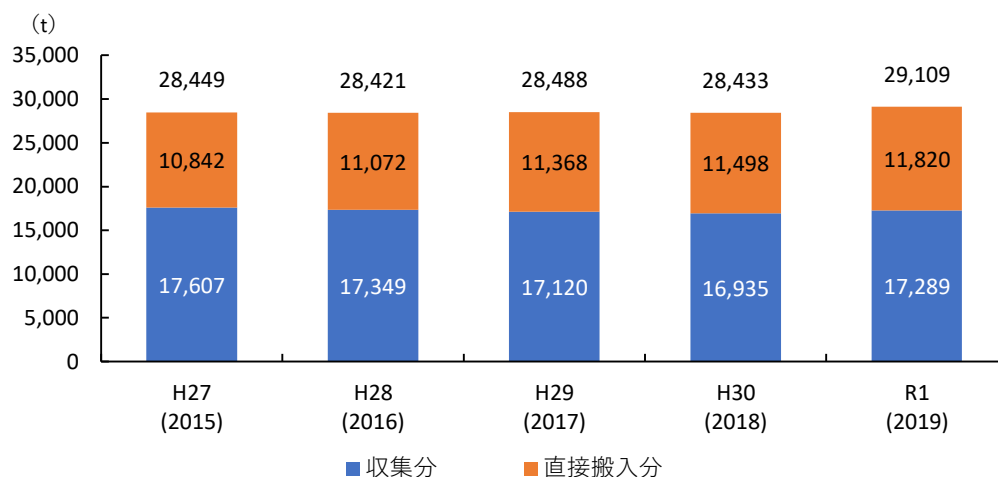
資料：農林業センサス（射水市統計書 令和2年度版）

⑰ 職業紹介状況（高岡管内）



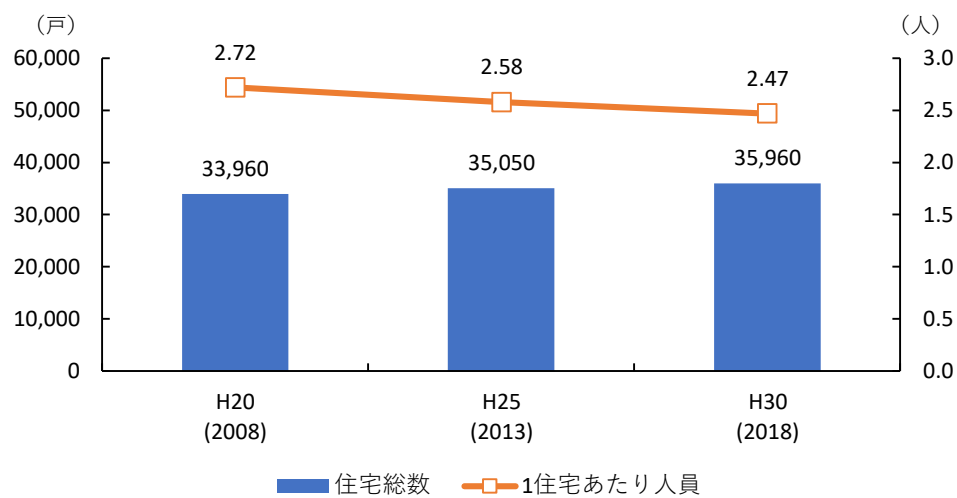
資料：高岡公共職業安定所（射水市統計書 令和2年度版）

⑱ ごみ搬入量



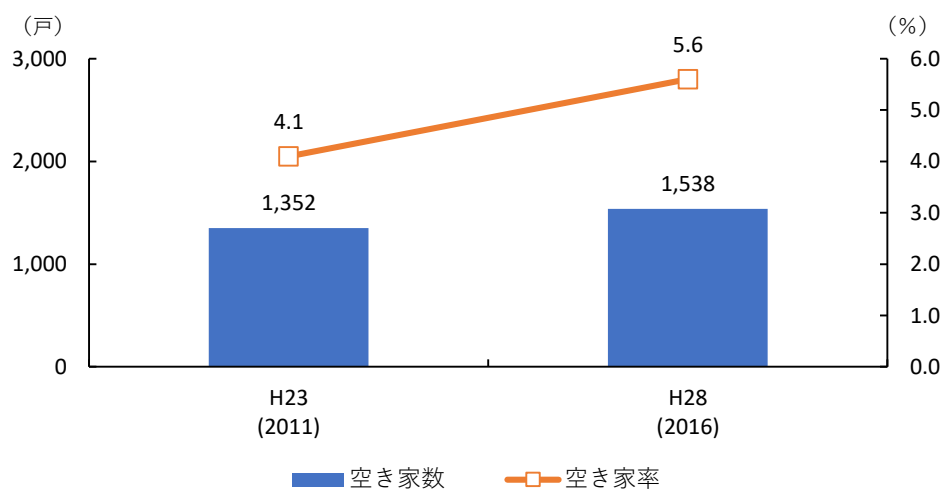
資料：環境課（射水市統計書 令和2年度版）

⑱ 住宅総数・1住宅あたり人員



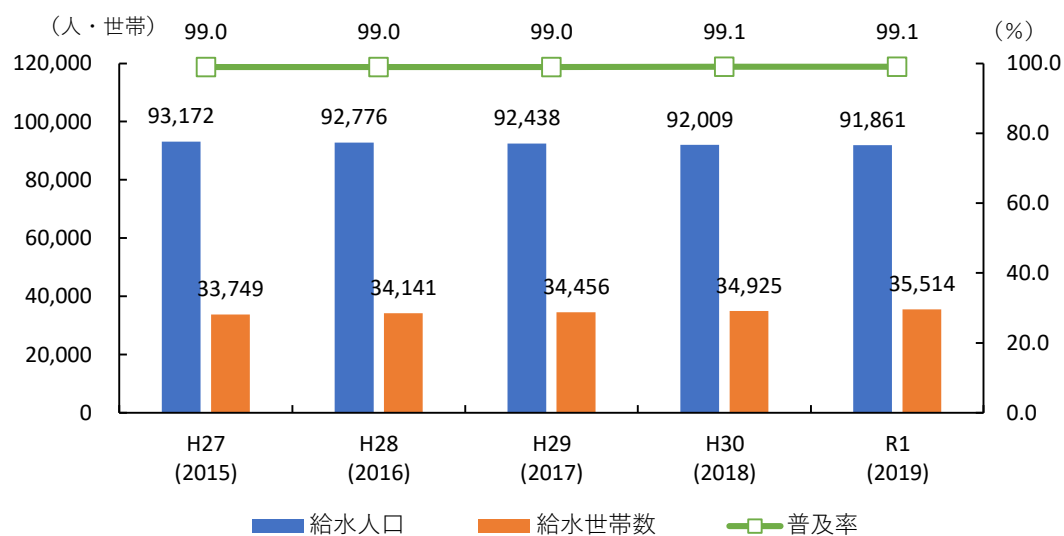
資料：住宅・土地統計調査（射水市住生活基本計画）

⑳ 空き家数・空き家率



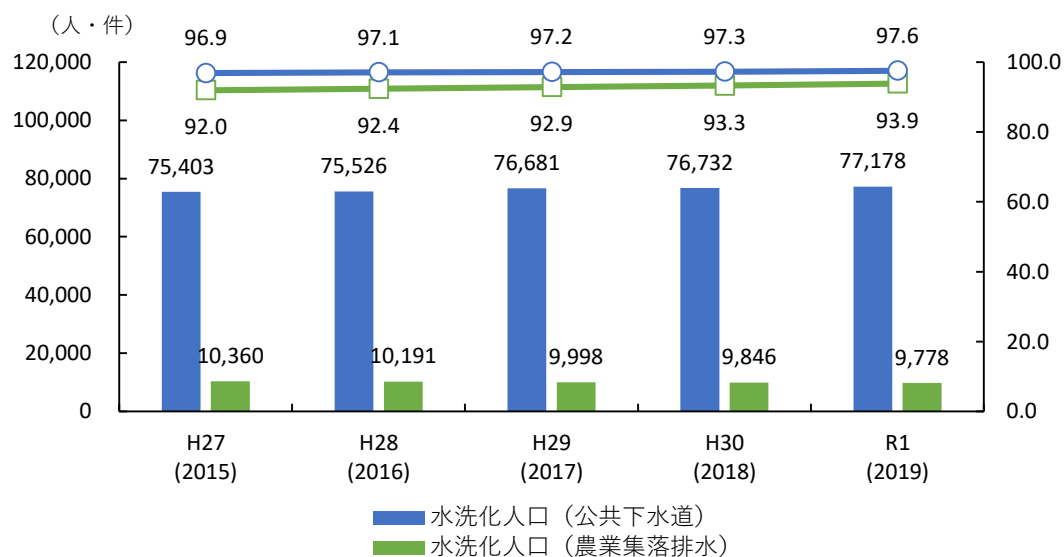
資料：射水市空き家実態調査

㉑ 給水人口・世帯数・普及率



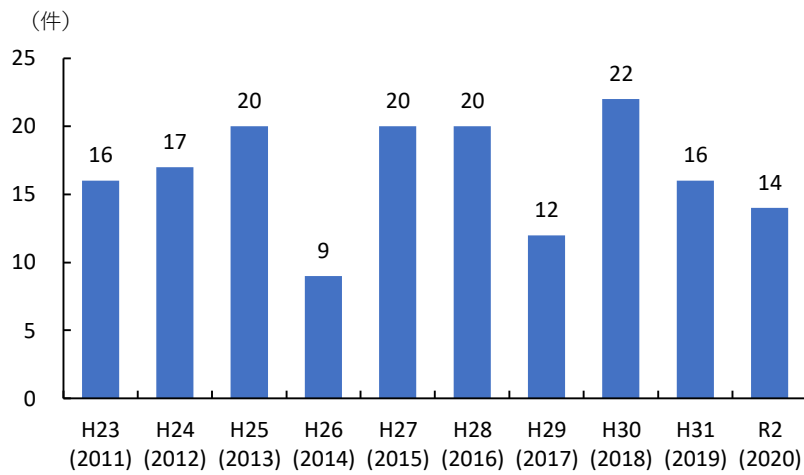
資料：上下水道業務課（射水市統計書 令和2年度版）

㉒ 下水道水洗化人口・普及率



資料：上下水道業務課（射水市統計書 令和2年度版）

②③ 出火件数

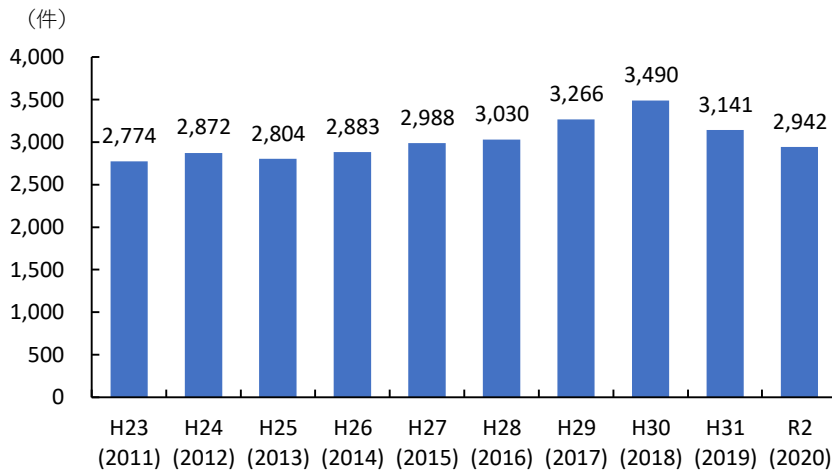


■出火原因（令和 2 年）

原因	件数
不明・調査中	4
ストーブ	2
放火	2
たばこ	1
炉	1
排気管	1
電気機器	1
マッチ・ライター	1
その他	1

資料：射水市消防本部（射水市統計書 平成 27 年度版・令和 2 年度版）

②④ 救急出場件数

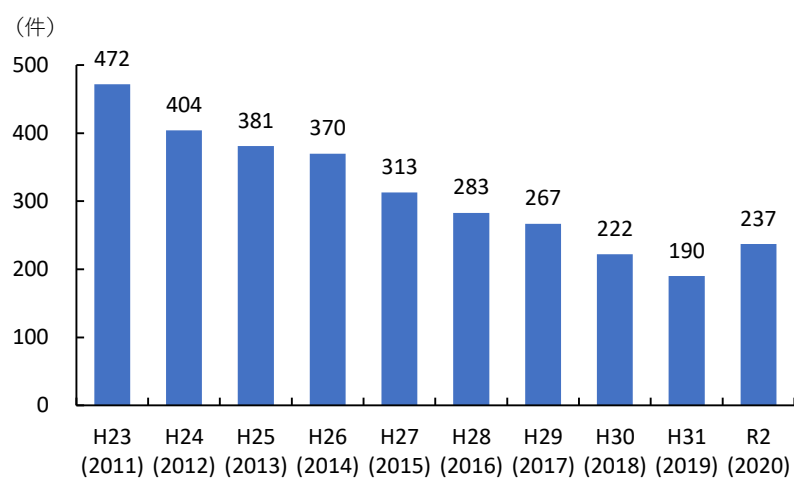


■出場区分（令和 2 年）

区分	件数
急病	1,815
一般負傷	539
交通	195
労働災害	51
自損行為	37
火災	10
加害	9
運動競技	6
水難	3
その他	277

資料：射水市消防本部（射水市統計書 平成 27 年度版・令和 2 年度版）

㊦ 人身事故発生件数



資料：富山県警察本部、富山県・富山県交通対策協議会（交通事故白書）